

2014年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院看護栄養学研究科

はじめに

教員には、計画し実行した教育・研究活動について自らが評価して改善していく PDCA サイクルによる自己点検評価が求められます。本学では自己点検評価委員会に、自己点検評価に関する方針・実施基準に基づきその実施・報告に関する事項を担って頂いています。2014年度の自己点検評価結果については、報告書の発行に先立って3月の教育研究評議会に報告して頂き、全学的に点検評価の結果を共有しました。今後は評価点検結果に基づき対応・改善するための「Act」の部分について本学のシステムを構築する必要があります。その一環として2015年度は学生による授業評価に応える教員側の対応についてFD委員会において検討して頂くこととしました。教育・研究の多忙な中での授業評価への対応となりますので、授業評価の項目についても併せて検討頂くことにしました。その検討結果を教育研究評議会や教授会等で共有し、講義等の改善に生かしていくことを願っております。大学という有機体の前進のために自己点検評価委員会が引き続き、本活動を熱心に推進して下さることを期待しております。

ところで、2015年度の教学の重点目標の一つに大学院の充実を挙げましたが、教員組織の充実と学生確保が課題です。特に2016年度からの修士課程への保健師コース増設を文部科学省へ申請中であり、日本看護系大学協議会へのがん専門看護師38単位教育課程の申請も準備中です。今後さらに専門看護師コースの増設と博士課程の設置の検討を行う必要があると考えています。

さて、ここに、2014年度年報をお届け申し上げます。学外関係者の皆様には、平素の本学の運営へのご理解、ご支援を深く感謝申し上げますと共に、本年報にお目を通し頂き、ご意見、ご批判を頂きたく存じます。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2015年6月

天使大学
学長 武藏 学

自己点検・評価報告書

目 次

I. 教育課程	1
1. 教務委員会	1
2. 看護学科	2
3. 栄養学科	3
4. 教養教育科	5
5. 看護栄養学研究科	6
II. 学生の受け入れ	7
III. 教員組織	9
IV. 研究活動・研究環境	10
V. F D活動等	12
VI. 社会貢献	13
VII. 学生生活	18
VIII. 就職支援	20
IX. 図書館	21
X. 情報処理システム	22
XI. 施設・設備	23
XII. 管理運営	24
XIII. 財務	25
XIV. 事務組織	26
XV. 自己点検・評価活動	27

I. 教育課程

1) 教育課程の運営

担 当：教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護栄養学部の教育の質保証に関すること 2. 学生の学習支援に伴う課題の検討 3. 学習環境の整備 4. 教員の委嘱に関する件 5. 規程改正
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護栄養学部の教育の質保証について <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育課程について <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度の教育課程は学事暦に基づき問題なく実施された。 ・過密カリキュラムによる教育課程展開上の課題として時間割作成上の困難、学生の自己学修時間確保の困難等は教育課程の抜本的な検討が必要である。今年度設置されたカリキュラム検討委員会での検討事項として提案した。 ・改善を要する点として大学基準協会から挙げられた学部教育課程編成の4軸と教養教育課程や専門教育科目分野編成との整合性について次年度へ継続審議となった。 ・履修登録時に参考となる履修モデルを検討し、次年度より履修要項に同じ表記とする検討を行った。記載が無かった教職課程履修要項についても明記するため検討を行った。 2) 学生による授業評価の実施とその改善 <ul style="list-style-type: none"> ・各科目担当教員レベルの評価改善サイクルは年度内に実施した。 ・2015年度以降の授業評価改善と実施主体について学長、FD委員長、各学科長・科長、教務部長で検討した。2015年度より「学生による授業評価アンケート」の実施主体をFD委員会へ移管することになった。 3) 成績評価について <ul style="list-style-type: none"> ・「授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出」に関して前年度教務委員会メンバーで検討し、申出の手順を作成、申出要領を一部変更し、教授会へ報告した。 ・看護学科学生より成績評価に対する意見申出が2件あった。申出の手順に基づき臨時教務委員会で対応した。なお、当該学科との連携、教務委員会と単位認定者との関係、学長への相談報告、成績評価等について再度検討する必要がある。再発防止策の検討が喫緊の課題である。 2. 学生の学習支援について <ol style="list-style-type: none"> 1) 履修ガイダンスの改善：親睦ゼミで行われて各学科・科のガイダンスと学内で行われていた学務課ガイダンスを一本化し、入学時オリエンテーションで学科別に分けて実施した。アンケート結果では「良く」と「だいたい」理解できたと回答した学生が80～90%以上で、改善は効果的だった。 2) 試験に関するアクシデント等について <ul style="list-style-type: none"> 全体で9件のアクシデント等があった。：学生4件、教員3件、教員と学務課1件、学務課1件あり、教授会へ報告した。 3. 学習環境 <ol style="list-style-type: none"> 1) 8号館ゼミ室IT環境の経年変化に対応した整備を行った 2) 講義室の音響設備の経年変化に対応した整備を行った。 3) 自己学習環境整備のため冬期間と週末の暖房を整備し節電対策とあわせて対応した。 4) 学生・教員サービスの向上と学務課事務の効率化を図るため、GAKUENシステムソフトと講義室音響設備の予算化を行った。 4. 専任教員・非常勤講師の委嘱に関する申し合わせの見直し <ul style="list-style-type: none"> 学校教育法の一部改正に伴い、手続きについて見直し整理した。 5. 規程改正：以下の2件について改正を行った。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学則の一部改正：2015年度以降入学生を対象とする教養教育科目の一部改正に伴う学則改正をした。 2) 履修規程の一部改正：第10条（成績評価）第11条（単位授与）を改正した。
<p>次年度への課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科・科の教育課程の評価と改善（カリキュラム検討委員会と連携） ・成績評価に関する検討、再発防止策の検討、GPA制度の導入の検討 ・学習環境の改善
<p>自己点検評価委員会からの評価</p>	<p>活動目標に従い活動内容が評価され、次年度への課題へと繋がっており、自己点検評価のPDCAサイクルのうちPDCまで、うまくいっているように見受けられます。本(2014)年度に示された次年度への課題が次(2015)年度の活動目標(=PDCAサイクルのA)に繋がることを期待します。</p>

I. 教育課程
2) 看護学科

担当： 看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムの実施・充実：教育達成に向けた教育 2. 学生支援の促進と評価 3. 教員の教育研究能力の向上 4. 教育指導体制の充実
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムの実施、充実に向けての点検・円滑な運用・評価 2012年度カリキュラム1年生のレベル目標アンケート結果から、達成状況は全体的に高い傾向にあった。2・3年生のレベル目標の達成状況は、特性3（環境調整等）・特性5（国際的視野）に関わるレベル目標の達成状況は低い傾向にあった。また、学習状況についてのアンケート結果から、時間割の過密さ、科目配置、学習環境、行事への評価が低かった。予習・復習・課題への取り組みについては学年が上がるにつれて低い傾向にあった。以上から、今後のカリキュラム改正時に検討し改善していくことが課題となる。 2. 学生支援の促進と評価 少人数制の学生支援体制を組み、各学年の学習段階に応じて学生支援にあたった。また、学習支援プロジェクトによる看護師保健師国家試験に向けて到達度テスト実施、学習ガイダンス、低学年の専門基礎科目の学習支援は学習の動機付けとなった。 3. 教員の教育研究能力の向上 ・学生の実践力強化や主体的な学習行動・判断力育成のために、TBLを活用した授業展開、母子の連携による実習等各領域で取り組んでおり、今後、成果を検証していく。 ・看護学科の文部科学省科学研究費補助金獲得（研究代表者）は継続2件、新規1件、特別研究費の助成は2件で、獲得においては課題が残った。また、博士課程へは2名在籍（長期履修）、研修日申請は3件であり、教育研究体制においても課題がある。 ・看護学科自己点検評価委員会による「教員の教育研究等環境等に関するアンケート」を実施した結果、教育研究環境としては不十分な実態があげられた。 4. 教育指導体制の充実 ・実習指導力向上と指導者との連携のために研修会を行った。異なる病院の指導者同士が実習指導上の課題を共有し、学生への関わりを考える機会になった。 ・2014年度は7月以降に33名中30名の教員が在籍し、おおむね教員構成は充足された。次年度は欠員への早急な対応が必要である。 5. その他：実習中に得た情報をLINEを通じて漏洩があったことから、さらなる職業倫理の意識づけが必要である。実習指導に関する申出が保護者からあり対応した。また、実習成績への意見申出があり臨時教務委員会で対応した（再度実習、成績見直し）が、対応手続きにおけるシステム化が課題。以上から学生の準備状態・学習状態や特性に応じた指導を行うことが課題となった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムの実施・充実：2016年4月カリキュラム改正を目指し、2012カリキュラムの点検評価と課題抽出・改善に向けて検討する。 2. 学生支援活動の充実：学生支援教員と当該領域教員との連携を継続する。 3. 教員の教育研究能力の向上：研究資金獲得や研修日の確保への各領域での体制作りを行う。教員の教育研究環境を整えていく。 4. 教育指導体制の充実：教員の適正配置をめざし、年度早期に欠員を補充する。 5. その他：学生の状況に応じた指導教育を行う。意見申出等々における対応手続きのシステム化について関係部署との連携を図る。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>各学年に応じた学生指導の促進では一定の成果をあげていることを評価します。教員の教育研究能力の向上、教育指導体制の充実について継続的な検討を期待します。</p>

I. 教育課程
3) 栄養学科

担 当：栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じた理念教育）の内容、指導体制の充実 2. 就職支援対策 3. 地域連携、研究活動の推進
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①学部のカリキュラム検討委員会が設立されたことを踏まえ、学科内でカリキュラムWGを立ち上げ検討する予定であったが、日程調整等が難しく、今年度はあまり機能できなかった。引き続き次年度以降も検討を重ねる予定である。 ②臨地実習について実習担当者を中心として、実習指導や巡回など学科全体が協力して進めることができた。実習施設との連絡連携については、担当教員の不在時の連絡等密に行うことができた。また、監査で指摘のあった「実習巡回指導を実習担当教員だけでなく学科教員全体で担う」ことについても、今年度は実施できた。 ③国家試験対策の支援方法として新しく MOODLE（オンライン教育システム）を利用して実施したが、初年度ということもあり学生間に戸惑いが見られ、うまく機能できない部分が見られた。後期から前年度同様対策講義を実施することになり、模擬試験成績下位者を対象に行った。教員の協力体制はできている。 2. 就職支援対策では、学生支援教員が中心となり個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。夏期休暇を利用した対策講座など就職委員会との連携も取れている。 3. 企業や団体等との連携は、昨年同様実施されている。学外資金獲得も行われている。特に今年度からは「農林水産省異分野融合共同研究『世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証』」に取り組んでいる。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学部・学科のカリキュラムポリシー・ディプロマポリシーに即したカリキュラムの見直しを行う。 2. 管理栄養士国家試験について学科全体で対策を検討し、合格率 100%を目指す。 3. 就職支援では栄養教諭採用試験の合格・登録者数を高めるために教職課程委員会と協働し一層の支援強化が必要である。また自治体職員受験の対策を強化する。 4. 社会・地域貢献の一環として地域連携をより積極的に推進する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>臨地実習における実習施設との連携、就職対策における就職委員会との連携、外部団体との連携を図っている点を評価します。学科内のカリキュラム検討や栄養士をめざさない学生への就職への動機づけについては継続的な検討を期待します。</p>

I. 教育課程

3) 栄養学科—教職課程

担 当：教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程教育の充実 2. 教員採用試験の受験支援の強化 3. 栄養教諭免許状更新講習の実施計画策定と実施
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程教育の充実 <ol style="list-style-type: none"> 1) 現職の栄養教諭による授業組み込みによる充実 <ol style="list-style-type: none"> ①「栄養教育実習事前事後指導」のうち1回を「札幌市の栄養職員・栄養教諭の仕事」をテーマに栄養教諭に実施してもらった。②「教職実践演習」のうち1回を「年間指導計画と効果的な食指導・アレルギー対応について」のテーマで小学校栄養教諭に、他の1回を「特別支援学校の栄養教諭業務」のテーマで特別支援学校栄養教諭に実施してもらった。*いずれも、授業後のレポートで授業効果が確認された。 2) 外部との連携による充実 <ol style="list-style-type: none"> ①北大農場実習 i)「ベリー類の特性についての学習と収穫体験」（「教職概論」の1回） ii)「田植え・稲刈り・収穫体験・調理体験」（正課外、1年次16～29名参加） iii)「新米官能評価」（正課外、1年次25名参加） iv)「北大生対象新米による調理指導」（正課外、3年次5名参加） ②小学校インターンシップ（正課外、札幌市立小3校で実施、2年次学生11名参加） ③中学校授業参観（3年次「教職総合演習」、札幌市立中1校で実施） ④北光児童会館での児童への栄養教育（4年次「教職実践演習」） ⑤サッポロさとらんどでの栄養教育（4年次「教職実践演習」・3年次「教職総合演習」） *以上については、事後のレポート、アンケート、感想により、学生にとり驚き、発見、学びが多く、その効果が確認された。 2. 教員採用試験の受験支援の強化 <p>平成27年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援を、外部講師を含めて行った。結果、12名の受験者のうち10名が1次試験合格、うち2名が2次試験合格、登録となった（卒業生2名も登録）。この結果は平年並みであり、目標は一応達成されたが、一層の強化をはかる必要がある。</p> 3. 栄養教諭免許状更新講習の実施計画策定と実施 <p>実施計画の策定を行い、8月4日、本学山部秀子教授による「北海道の食文化について」をテーマとする講習を実施した。栄養教諭20名が受講し、事後アンケートでも概ねよい評価を受け、目標は達成された。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程教育の充実 今年度に引き続き実施し、改善を図るとともにシステム化する必要がある。 2. 教員採用試験の受験支援の一層の強化 合格・登録者数を高めるための支援強化が必要である。 3. 栄養教諭免許状更新講習の実施 受講希望者の存在を考慮して、本年度に引き続き実施する必要がある。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>現職の栄養教諭による授業や外部との連携による教育の成果が見られ、学生の教職への動機づけが高まったことを評価します。また、教員採用試験については一定の成果が見られたことを評価し、今後も継続的な支援強化を期待します。</p>

I. 教育課程
4) 教養教育科

担 当：教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次教育(含む入学前教育、導入教育)の充実 2. 高等学校の指導要領変更に対する対応 3. 学外研修への参加
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次教育(含む入学前教育、導入教育)の充実 <ol style="list-style-type: none"> 1) 英語プレイスメントテストおよび英語到達度試験について、前年度に決定したとしており、成績上位者の学習効果を適切に測定するため、G-TELP Level 4 の難易度を Level 3 に上げて実施した。 2) 専門科目へ繋がる科目として、生物学・化学について下記 2 点を実施した。 <ol style="list-style-type: none"> i. 入学前教育として、推薦による入学者に対し問題集を送付し、返送された解答を採点した。また、全入学者に対して自己学習課題を送付した。 ii. 入学直後に診断テストを実施し、結果を履修指導に活用した。 3) 昨年度に引き続き、科目「基礎学修演習」の内容充実を目指した。学生による授業アンケート調査の集計結果は、2013 年度に比べて 2014 年度で評点が上昇している。引き続き改善に努める。 2. 高等学校の指導要領変更に対する対応 <p>次年度(2015 年度)から、数学と理科について、新しい学習指導要領のもとで教育を受けた学生が本学に入学することに合わせ、昨年度から検討を進めていた、教養教育科目の共通基礎領域および人間と自然科学領域における教育課程を一部変更した。教務委員会の審議を経て教授会で決定し、文科省および厚労省から認可された。</p> <p>また、次々年度(2016 年度)からは、高等学校の英語などについても、新しい学習指導要領のもとで教育を受けた学生が本学に入学する。これに対する検討をおこない、現状では特別な対応は不要とした。</p> 3. 学外研修への参加 <p>今年度も下記の学外研修に参加し、情報の収集および、科内での情報共有を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会（帯広畜産大学，8 月） 2) 初年次教育学会（帝塚山大学，9 月） 3) 大学教育研究フォーラム（京都大学，3 月）
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の活動目標 1 と 3 は引き続き目標とする。 2. 今年度の活動目標 2 は、対応が終了したため、次年度の目標から外す。 3. 教養教育科の活動を評価する客観的な指標や、これに基づく内部質保証に向けた枠組みの構築を検討する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>基礎学修演習の内容充実を目指し、学生による指導評価アンケートの評点が上がっていることについては評価します。高等学校の指導要領の変更に対する対応については、今後を見据え検討されることを期待します。</p>

I. 教育課程

5) 看護栄養学研究科

担当：看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度看護学専攻カリキュラム改正に向けた看護栄養学研究科としての検討 2. 特別研究の単位を見直し、長期履修生の履修期間に係る規程の見直し 3. 看護学専攻保健師課程 2016年度開設に向けての申請並びにホスピス緩和ケア看護学コースの専門看護師教育課程 38単位申請に向けての準備 4. 栄養管理学専攻の隔年開講科目（全選択科目）について、毎年開講の検討 5. 本学の特色を活かした共同研究の推進に向けて、意識の高揚、体制整備を図る。
<p>活動内容の評価</p>	<p>2014年度は、2013年度に引き続き、論文提出による博士（栄養学）を1名が取得し、また、博士前期課程修了生3名が修士（栄養学）を、看護学専攻修士課程修了生3名（ホスピス・緩和ケア看護学コース1名、公衆衛生学コース2名）が修士（看護学）を取得した。そのうち、3名が長期履修制度を利用した。</p> <p>個々の活動目標に対する評価を次に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度看護学専攻カリキュラム改正に向けた看護栄養学研究科としての検討 看護栄養学研究科としての共通科目を提言できた。 2. 特別研究の単位見直しについては、文部科学省へ相談した結果、単位認定基準を明確に区分することが困難であるとの結論に至った。長期履修生の履修期間に係る規程の見直しは、実現できた。 3. 看護学専攻では、大学院での保健師課程 2016年度開設に向けての申請準備を鋭意実施した。ホスピス緩和ケア看護学コースの専門看護師教育課程 38単位申請に向けての準備も行っている。 4. 栄養管理学専攻の隔年開講科目（全選択科目）について、毎年の開講を検討する。看護学専攻との共通科目の一部を、毎年開講にするべく、準備が整った。 5. 在籍学生比率向上に向けて、以下の活動を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・学部生に対して大学院進学に対する意識づけのための説明会を実施した。また、天使祭において大学院相談コーナーを設置した。臨地実習指導者や卒業生に学校案内や大学院パンフレット、募集要項の配布を行った。 ・2015年度入試の結果、看護学専攻修士課程ではホスピス緩和ケア看護学コース2名、栄養管理学専攻博士前期課程3名、博士後期課程1名の入学が確定した。収容定員に対する在籍学生比率は、両専攻とも前年度から増加し、看護学専攻及び栄養管理学専攻博士後期課程はともに50%、栄養管理学専攻博士前期課程は117%となる（資料45頁）。 6. 大学院看護栄養学研究科の合同FDを実施した。 研究方法に関する両専攻合同開催のFD研修会を一昨年から引き続き、行った。第1回目は「実験とキャリア、組み立てヒント」、2回目は「質的研究方法論～現象学的アプローチ～」のテーマで実施し、ともに大学院・学部教員、院生・卒業生等40名程度の参加を得た。 7. 両専攻の共同研究の一つとして昨年度スタートした「本学修士課程修了生に共通するコンピテンシーの明確化」について、継続発展させた。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学専攻のコースの拡大 2. 大学院の教員体制の整備並びにインセンティブとして研究費の付与などの検討 3. 大学院の組織体制（各種委員会）の検討 4. 入学生確保に向け、奨学金制度の整備・拡大とeラーニングを活用した遠隔教育の検討
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨(2013)年度に指摘のあった、前年度の課題と本年度の活動目標との齟齬が、今(2014)年度は解消されており、自己点検評価活動に改善がみられます。</p>

II. 学生の受け入れ

担当：広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学 Web サイトをブラッシュアップする。 2. 大学案内パンフレットをブラッシュアップする。 3. オープンキャンパスをブラッシュアップする。 4. 広報効果の最大化を図るため、広報戦略を立てる上でのデータを見直すとともに、分析力を強化する。 5. 「天使大学オリジナル焼き菓子」を広報活動に有効に活用する。 6. 大学院看護栄養学研究科、栄養学科 3 年次編入学試験の定員確保に向けた、効果的な広報策を検討する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度は「スマートフォンへの対応」、「助産研究科、看護栄養学研究科ページの改善」に着手した。「学生の生き生きとしてキャンパスライフ」や「本学の空気感」をリアルタイムで伝えることで、本学への好感度アップ、ファン層の拡大を狙って導入した facebook、twitter の公式ページは、残業時間の抑制の中で昨年度と比べ発信力が減じた。 2. 2015 年度パンフレットはフルモデルチェンジを行う予定だったが、その検討が遅れたため、大幅な変更は行わなかったものの、「入試・就職・奨学金資料集」の情報を盛り込み、6 ページ増の 56 ページとなった。 3. 8 月の看護学科オープンキャンパスは、今年度から「午前」・「午後」2 回に分催した（各回定員 200 名）。保護者説明会を除くすべてのコンテンツにおいて、満足度が 90% を上回ったが、参加者数は昨年比で 47 名減少した。また、10 月オープンキャンパスでは新企画として「学生トークライブ」、「小論文対策講座」を開催した。 また、受付時の参加カードの記入による混雑と参加者の負担軽減のため、事前申込時の情報を基に「受付簿」を作成し、受付を行った。 4. 新入生アンケートを広報活動に活用するなど、広報戦略を立てるためにさまざまなデータを活用したが、データ内容の見直しや分析力の強化には至らなかった。 5. 2014 年 6 月ごろから活用する予定で、興部町の「食を考える協議会」代表・大黒敦子さん（天使女子短期大学食物栄養学科 30 回生）と栄養学科学生 4 名の協力のもと、「天使大学オリジナル焼き菓子」の商品開発を進めた。しかし、2014 年 7 月に武蔵学長の判断により制作を中止することとした。その後、広報委員会で再検討し、「天使大学オリジナル焼き菓子」のデザインと学生が関わって作成した事を活かした焼き菓子を「食を考える協議会」が商品化し、それを広報委員会で購入してオープンキャンパス参加者等へ配付することとした。 6. 栄養学科 3 年次編入学試験学生募集のための広報活動は、道内に 5 つある「栄養士養成短期大学」を中心に展開している。今年も 6 月に本学内で「3 年次編入学試験説明会」を開催し、編入学後の学生生活やカリキュラムについて説明するとともに、在学する編入生からのアドバイス、過去問題の配付などを行い、17 名の参加があった。結果として、2015 年度栄養学科 3 年次編入学試験は志願者 11 名、合格者 5 名と定員を満たした。 大学院看護栄養学研究科の学生募集のための広報活動は、「教員による声かけ」を軸に行っている。その他にも、病院、看護系・栄養系大学、保健所等 1,909 ヶ所への看護栄養学研究科パンフレットの送付、リスティング広告の掲出で志願者確保を目指している。しかし、今年度も定員を満たすことはできなかった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学 Web サイトの入念な点検評価を行い、それに基づいたさらなる改善を図る。また「スマートフォンへの対応」、「助産研究科、看護栄養学研究科ページの改善」を引き続き行う。 2. オープンキャンパス参加者のさらなる増員を図る。また、10 月オープンキャンパスのコンテンツ、「学生トークライブ」、「小論文対策講座」のブラッシュアップを行い、参加者の満足度を向上させる。 3. 2016 年度の大学案内パンフレット、大学院看護栄養学研究科パンフレットを、読者のニーズに応えるかたちでフルモデルチェンジする。また、前年度のプレゼンテーションで決定した「2017～2020 年度大学案内パンフレットの制作委託業者」と協力し、2017 年度パンフレットの制作も並行して進める。 4. 広報戦略を立てるためのデータの精査（入試統計資料、新入生アンケート等）および分析力を強化する（「過去 3 カ年分の資料請求者等」と「志願者、合格者」の突き合わせ資料を広報媒体の選定に利用する等）。 5. 栄養学科 3 年次編入学試験の定員確保に向けた施策を続けるとともに、大学院看護栄養学研究科に 2016 年 4 月から新設される「保健師養成コース」の広報に注力する（「看護栄養学研究科説明会」の開催（8 月）等）。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>編入学希望の学生に対する広報活動は一定の実績を挙げた点で評価します。広報効果を上げるために、さらに継続的な検討を期待します。</p>

II. 学生の受け入れ

担当：入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。また、次年度予定されている大学入試センター試験の試験場責任校として共同実施校と連携を図りながら遺漏なく試験を遂行する。 新学習指導要領に対応した一般入学試験の円滑な問題の作成に努める。また、「理科・数学」の経過措置について高校生等に早期に周知する。 「入学試験選抜制度の見直し」は、2013 年度に議論した方向性をふまえ、新たな入学試験選抜制度を立案し、公表に向けた準備を進める。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 円滑で遺漏のない入学試験実施のため、監督者等による事後アンケート結果等をもとに入試委員会で仔細におよぶ改善点を列挙し、それらについて概ね改善した。また、一般入学試験「英語」出題者からの要望を受け、ネイティブチェックを導入した。 受験者が「web サイト上での合格発表」を安定した環境で閲覧できるように、使用サーバを「GMO パブリッククラウド KVM 方式」から「GMO パブリッククラウド Xen 方式+ロードバランサーの導入」に変更し、サーバダウンの可能性がほぼ 0%となる環境を整えた。 大学入試センター試験の試験場責任校として、共同実施校と連携を図りながら準備を進め、試験当日は「発病受験者の別室受験」、「重度の障害をもつ受験者の別室受験」等といったイレギュラーな事案にも対応しながら、円滑に試験を実施した。 一般入学試験学科試験では、「英語」における「問題文で記述した選択肢の数 (①～⑧)」と「実際の選択肢の数 (①～⑦)」の齟齬、「生物基礎・化学基礎」の問題冊子での落丁 (1 件)、一般入学試験看護学科受験者の受験票等における受験番号付番の誤記 (1 件) があった。いずれも迅速な対応で大過に至っていないが、入試委員会としてチェック体制を再確認し、再発防止策を講じた。 「数学 I・A」、「生物基礎」、「化学基礎」は、過年度生に対する経過措置として、「新教育課程」・「旧教育課程」の重なる範囲からの出題を基本とし、大問のひとつを「新教育課程」・「旧教育課程」から 1 題ずつ出題し、受験者にいずれかを選択させる出題方式を採用した。このような作問を行うにあたり、出題者と密に連携を図りながら問題冊子・解答用紙をわかりやすく作成し、学科試験当日、受験者に混乱は認められなかった。また、こうした経過措置について、オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問、web サイトの公表等により事前に高校生、高校教員等に積極的に周知した。 2016 年度の入試問題から、先行実施した「数学・理科」以外の科目においても「新教育課程対応」となることから、2014 年 11 月 25 日 (火)、「2016 年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験の試験科目」について web サイト上で予告した。 「入学試験選抜制度の見直し」については、2014 年 12 月 22 日に中央教育審議会から出された「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について (答申)」や高大接続特別部会、教育再生実行会議の審議内容をふまえ、検討した。 「指定校推薦入学試験の廃止に関する内規」を入試委員会で策定し、次年度の教授会で提案する予定である。 大学入試センターの手当は「大学入試センター試験実施経費支出 (配分) 基準」に従って支払われるべきであり、業務負担に応じた額が支払われるべきとの観点から、入試委員会として「大学入試センター試験 入試手当の変更案」を作成し、稟議した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。大学入試センター試験においても共同実施校と連携を図りながら遺漏なく試験を遂行する。 個人面接試験、小論文試験は、2014 年度の評価結果に基づき、評価項目や運営方法等を再検証し、さらなるブラッシュアップを図る。 「入学試験選抜制度の見直し」は、中央教育審議会の答申、高大接続特別部会、教育再生実行会議の審議内容をふまえてさらに検討し、一定の方向性を示す。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>円滑で遺漏のない入学試験実施に取組み、センター入試責任校として役割を果たしたことを評価します。一般入学試験において確認された点は、再発防止につなげる機会とすることができ、また、受験科目の経過措置については事前周知の結果、混乱がなかった点も評価します。今後は、入学試験選抜制度の見直しについて検討をすすめることを期待します。</p>

III 教員組織

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。 2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員を確保する。 3. 大学院の組織体制を検討する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教育研究組織としての適切性」の検証について 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する必要があるが、自己点検委員会や、毎年度の人事方針や具体的な人事配置の検討の中で教育研究組織としての適切性の検討を引き続き行う。 2. 教員組織について <ol style="list-style-type: none"> (1) 2015年度人事方針において、看護栄養学部の教員定数は67名以内、助産研究科は15名以内、嘱託教員数は3割程度とした。 看護栄養学部の教員定数67名の内訳については、看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科7名である。 (2) 人員の確保については、看護学科教員の人材確保が極めて厳しい環境の中で、教員採用については全学的な取り組みを行っているところであり、2014年度当初において、看護学科で定数33名に対し4名の欠員（うち学長1名、特任教授1名を含む）、栄養学科で定数27名に対し欠員1名、助産研究科は16名（内兼任教授3名、特任教授1名、助手1名を含む）となっている。 (3) 教員の採用方針については、建学の理念とともに教員の年齢構成に配慮しながら、専任教員と嘱託教員、特任教員のバランスをとりながら採用する必要があり、現行の教員採用・昇任に係る規程の運用や手続きについて、引き続き検討する必要がある。 (4) 大学院の組織体制については、大学院課程等増設検討委員会において検討を行い、2016年度看護学専攻に保健師課程（保健師コース）の変更承認申請することとしており、専門看護師コースの増設、博士課程の設置等の検討をするなど引き続き組織体制等について検討を行う必要がある。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。 2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員を確保する。 3. 大学院の組織体制を検討する。
<p>自己点検評価委員会からの評価</p>	<p>評価内容が昨年度と同様の記述のみで変化ありません。教員組織については教育内容、研究環境のあり方から、また昨年度の自己点検評価委員会からのコメントと合わせ、定期的な検証を具体的に進めてください。（自己点検評価委員会）</p> <p>修士課程への保健師コース増設、がん専門看護師38単位の申請を行って大学院の充実を図っていますが、高度専門職養成に見合う教員組織が必要です。また、大学院と学部の教育を兼務する教員の負担、研究時間確保、研究費配分等についての検討も必要と考えています。（学長）</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当：学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究意欲の発揚と共同研究推進のために研究報告会の定例開催を行う。 2. 紀要第15巻第1号は4月～12月の9か月間、第2号は7月～3月の9か月間を応募・査読・編集期間とした。昨年度同様、電子化・公開の上、学内希望者に冊子体(仮製本)を作製し配付する。 3. 競争的外部資金導入のための情報を収集し、提供する。 4. 研究に関する「よろず相談」を継続して実施し、研究環境整備について検討する。 5. 若手研究者育成のための方策を検討し、実施計画を立てる。 6. 本学リポジトリの収録コンテンツに関する整備を行う。 7. 本学の教育研究に関する講演会を企画・実施する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期は紀要執筆者3名の研究発表が行われた。今回は新任教員の発表がなかった。後期は、特別研究費による研究12件が発表された。栄養系7件、看護系3件、教養系1件、看護栄養学研究科1件であった。 2. 紀要第15巻第1号には2件の投稿があった。第2号には当初数件の応募があったが辞退が続いたため、日程を2015年度にまたがる6月末刊行に繰り延べ、再募集を行った。印刷業者を変更したことで、予算が4割減となり、編集工程がスムーズになったことは評価できる。 3. 科研費獲得のための講習会を会議システムLive Onを使って実施。東京、大阪で好評の久留米大学の児島将康教授に依頼し、九州からのライブ中継で行うことができた。財務室と連携したこの種の企画に弾みがつき、今後に期待がもてる。 4. よろず相談は今年度なかった。研究環境整備については、学校教育法などの改定があったため、引き続き取り組む課題とした。 5. 一部教授のもとで、助教ないしは助手の指導が行われ、栄養管理学専攻で論文博士2名が誕生した。今後は組織的な取り組みが課題といえる。 6. 紀要については順調に登録が進んだ。博士後期課程の博士論文については、2012年度分までの登録許諾も得ることができ、最新分まですべて登録公開した。 7. 昨年度に引き続き、神戸大学の太澤 朗氏に講演をお願いし、今回は栄養学科の学生にも興味深い『細菌性食中毒にみる我が国の食の安全の現況と展望』と題しご講演を依頼した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究意欲の発揚と共同研究推進のために研究報告会の定例開催を行う。 2. 紀要第15巻第2号、第16巻を発刊する。 3. 競争的外部資金導入のための情報収集と研究環境整備について検討する。 4. よろず相談を継続し、若手研究者育成のための具体的方策を検討する。 5. 本学リポジトリの収録コンテンツに関する整備を行う。 6. 本学の教育研究に関する講演会を企画・実施する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨(2013)年度に示された課題と、本(2014)年度の活動目標との整合性がわかり難いです。次(2015)年度の活動目標策定の時点では改善を期待します。</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当：研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理審査に関わる手続きの整備 2. 審査申請へのサポート体制の構築 3. 研究倫理に関する啓発活動と情報提供
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. まず、栄養学科の卒業研究に関する審査手続きを変更した。卒業研究に関してはこれまで栄養学科所属の委員の中で審査した結果が当委員会で報告・承認され、当該学生に審査結果が通知されてきたが、①卒業研究は正課内の科目であり研究指導は授業の一部であること、②学会発表・論文公開等を伴わない研究は現行の倫理指針でも倫理審査の対象外であること、という理由から当委員会の審査対象から外した。ただし、卒業研究であっても学会発表や論文公開の可能性があるもの、採血など侵襲性のあるものについては従来通り、委員会として倫理審査の申請を促し、その際は指導教員が倫理審査の申請を行い、学生については共同研究者として申請書に記載することとした。これにより倫理審査の手続きが一本化されスムーズな審査ができるようになった。 次に、「天使大学における倫理審査のためのチェックリスト」を作成し、次年度より運用することとした。リストの内容は過去の倫理審査で頻繁に指摘されてきた事項で、事前に申請者自身が必要書類や事項等を確認できるように整備した。 2. 事務局を担当している財務室スタッフおよび委員長が申請に際して対応した。今年度は全体で29件の倫理審査があったが、中には申請に必要な資料等の不備が著しいものが数件あり、その対応にかなりの時間を要した。次年度からは上記チェックリストの運用が始まるのでこの点の改善が見込まれる。 3. 年度始めの4月に教員および院生対象に説明会を行い、本学における倫理審査申請の手続きの仕方について案内する機会を設けた。その際、申請書を書く際の注意点について過去の審査で多く指摘された点を記載した文書も配布し注意を促すことができた。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次年度から運用を開始する倫理審査のためのチェックリストを活用しながらさらに迅速な倫理審査を実施すること。 2. 新倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた当委員会規程の見直しとそれに伴う一部事業の予算化。 次年度から施行される国の新指針に合わせて当委員会規程を見直し、委員会構成員の変更（複数の外部委員ほか）をはじめ、情報公開、モニタリング・監査の仕組みづくり、倫理研修の実施など、委員会としての業務の見直しを盛り込んだ規程案を、次年度内に教育研究評議会に提案する。同時に、これまで当委員会には予算が一切ついていなかったが、外部委員の登用や研修会の実施に伴う予算措置を今後講じ、再来年度予算案に具体的な数字を計上する。 3. 研究倫理に関する啓発活動と情報提供。 年度始めのガイダンスのほか、研究倫理に関連する各種情報の提供をメール等も活用しながら随時実施。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨(2013)年度に示された課題と、本(2014)年度の活動目標との整合性がわかり難いです。次(2015)年度の活動目標策定の時点では改善を期待します。</p>

V. FD活動等

担 当：FD委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の授業評価アンケート結果を用いた全学的規模の授業改善体制の運営（公開方法とその検証方法の確立）。 2. カリキュラム（学部・学科・科のCPやDPと各授業を繋ぐ）に関するFD活動 3. シラバスに関する研修成果の検証
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度前期の学生による授業評価アンケートの集計結果を用いた「授業改善シート（仮称）」実施に向けて行程表を4月に作成し、教務委員会と協力して実施予定であった。しかし、学長から学部・科での審議を経て、その結果を基に実施自体を再考するよう要請を受けた。 学部・科からの意見を基に再考した案を提出し、その結果を受けて、学長、教務部長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、FD委員長による検討会が開催されたが、「学生による授業評価アンケート」の実施内容（項目および項目数）および方法（毎年、隔年、特定教員のみ）の見直しをFD委員会が行うこととなり、「授業改善シート（仮称）」の実施は事実上中止となった。 2010年度からFD委員会で継続検討し2014年度事業計画書および予算のヒヤリング（2014年2月）を経て新規事業として承認された計画が中止となり、授業改善への全学的な取り組みが実施できなくなったことは非常に残念である。 2. 札幌市立大学看護学部教授の定廣和香子氏を招き、3月4日に「統合カリキュラム編成の実際」と題した講演会を開催した。出席者は48名であり、講演会終了後のアンケートからも満足度の高いFD研修会を開催できたと考える。 3. シラバスに関する研修成果の検証として、各学部・科の委員が「天使大学2014年度履修要項・授業概要」を基に、前年度の研修会で配付された「第21回北海道大学教育ワークショップ（平成21年）」の「ミニ講義 教育評価（p.47-53）」や大学設置時に文部科学省に提出した開講科目の資料などを照らし合わせ、研修効果の検証を行った。 その結果、文部科学省に提出した開講科目の目的と必ずしも全てが一致していないことが判明した。 シラバスに関する研修会の検証をしたことは評価できるが、今後、これをどう活かしていくか課題が残った。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生による授業評価アンケートの内容や方法について再検討する。 2. シラバス研修の検証結果のフィードバックの方法を検討する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学生による授業評価アンケートが授業改善につながるよう、方法等について検討されてきた点は評価します。この件にする今後の進め方に、より一層の努力を期待します。</p> <p>シラバスに関する研修成果の検証から、開講科目間での課題が明らかになったことは一つのステップとして評価できます。この機会をとらえて、本学の教育の方向性や科目間の関連性などを検討し、再度見直しや調整等に向けた機会となるよう健闘を期待します。</p>

VI. 社会貢献

担当：地域連携等委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2014 年度天使大学・北海道薬科大学公開講座の実施・運営及び 2015 年度公開講座の企画・検討 2. 東区役所との連携事業及び 5 者(東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、専門学校北海道体育大学校、札幌保健医療大学)連携事業の推進 3. 大学間(北海道薬科大学等)の連携事業等の展開 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道薬科大学(以下、「薬科大」という)と連携した公開講座は今年度で4回目である。薬科大と連携することにより、医療、薬、看護、心理学等で幅広い分野から講座を実施することが出来た。受講生は 2013 年度と比較すると 1.4 倍増加した。アンケート結果(別紙1)からは地域住民への有意義な講座を実施することができた。今後も、地域住民にとって有益な企画を立案していく。 2. 東区役所と連携し地域住民対象に9件の事業を行った。各事業とも本学教員と学生ボランティアが協力し、本学の質的資源が地域住民に還元されたことは評価できる。これらの事業に関して新しい企画をふまえ継続できるようサポートする。 2014 年7月より札幌保健医療大学が東区役所と協定を結び東区5者連携事業として「東区×教育機関連携公開リレー講座」企画・運営した。今年度は1日に4教育機関が講演する方法に変更し実施した。受講生は 2013 年度とほぼ同じであった。この結果(別紙2)をふまえ、次年度の企画について5者で検討する。 3. 大学間連携として、薬科大が主体で実施している夕張地域医療体験への学生参加者の募集を行い、事前準備・事後の報告等に係わった。実習体験の効果がみられたので今後も継続していく予定である。 4. 本学と地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公開講座で薬科大と連携することの利点を生かし、企画、運営について検討する。 2. 東区役所との連携事業について検討する。また、5者連携では、それぞれの組織が持っている資源の有効活用について検討する。 3. 薬科大との連携事業では、夕張地域医療体験への学生参加者の支援、連携内容について薬科大から提案されたことについて検討する。また、他大学との連携等についても検討する。 4. 本学教職員が地域・他大学と連携する事業等を掌握し、地域社会へ貢献している現状を整理する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>北海道薬科大学と連携した公開講座における受講生の増加については、評価出来ます。東区役所と本学が連携、また5者連携で行われる事業展開など、次年度に向けた課題検討の上、一層の活動を期待します。</p>

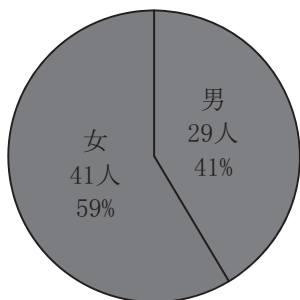
回答数 70

2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座 アンケート結果

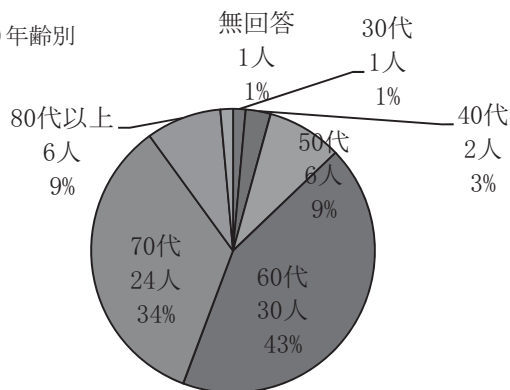
アンケート実施日：2014年8月21日(木)～9月18日(木)

1. 次の事項について、差し障りのない範囲でお答え願います。

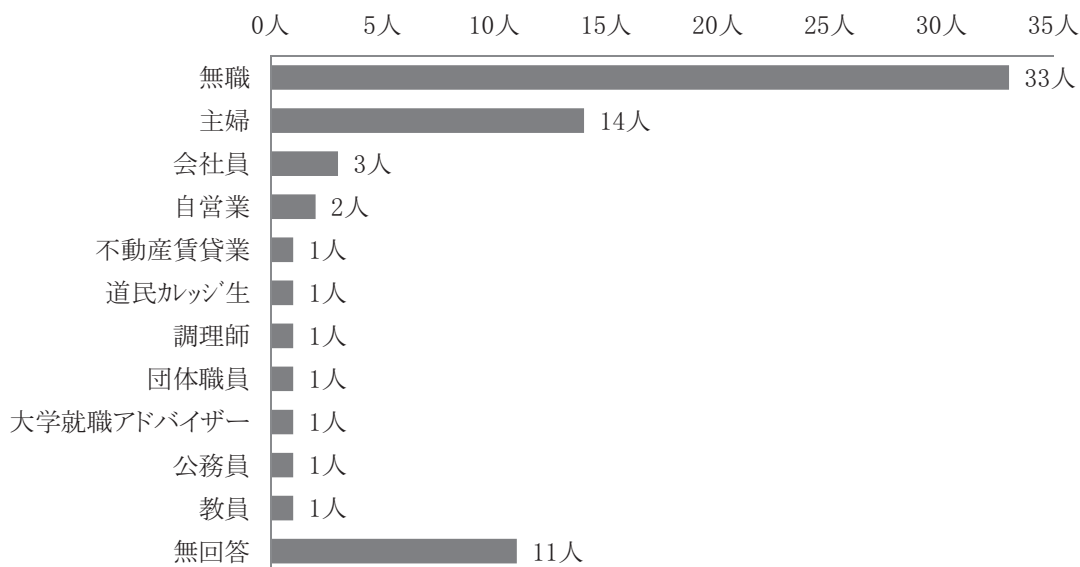
1) 性別



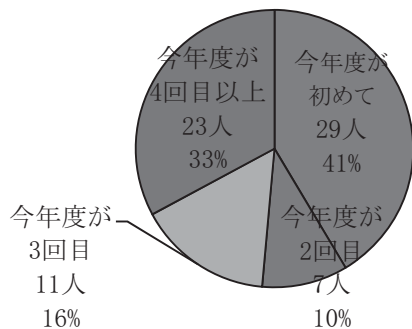
2) 年齢別



3) 職業



2. 参加回数は？



3. 何で知りましたか。(複数回答)

①	チラシ(北海道新聞折込み)	11人	13.1%
②	掲示ポスター	7人	8.3%
③	天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	33人	39.3%
④	新聞掲載	18人	21.4%
⑤	広報誌(道民カレッジ等)	12人	14.3%
⑥	ホームページ	1人	1.2%
⑦	その他	2人	2.4%
	無回答	0人	0.0%
合計		84人	100.0%

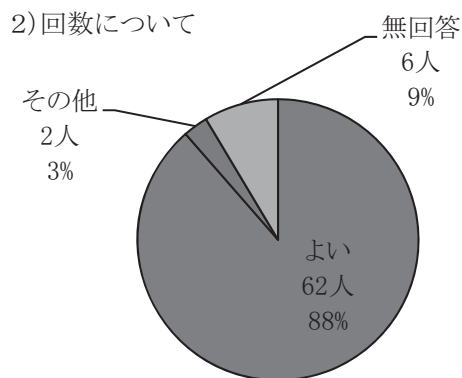
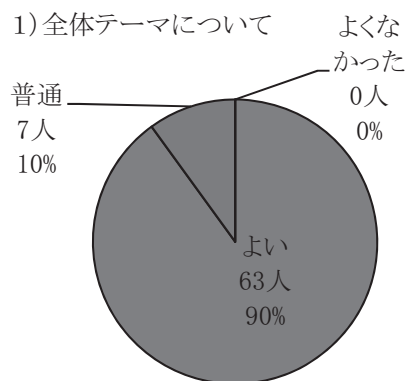
※その他内訳…娘の紹介(1) 友人より(1)

4. ご参加の動機をお聞かせください。(複数回答)

①	テーマに興味があったので	60人	45.8%
②	講師陣に魅力を感じて	0人	0.0%
③	2大学連携の公開講座だから	18人	13.7%
④	通いやすい会場だから	22人	16.8%
⑤	参加しやすい開講時間帯であるため	22人	16.8%
⑥	その他	7人	5.3%
	無回答	2人	1.5%
合計		131人	100.0%

※その他内訳… たまたま札幌に出掛けているので 上記の理由で参加しやすい。
やはり夜の講座はきつい。日中を希望します。
家から近いこともありました。
参加料が安い!
卒業生なので通いやすい
明るいうちに帰宅出来ればなおよろしいと思いました。
臨床心理士を学んでいるので(仕事しながら)

5. 今年度の公開講座について感想をお聞かせください。



※その他内訳… 3回が良い(1) 10回が良い(1)

回答数 36

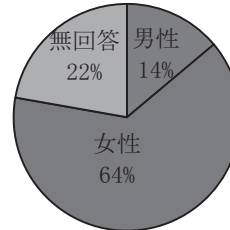
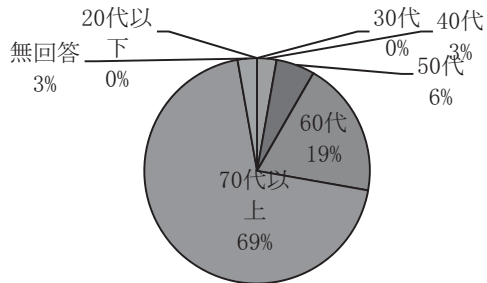
2014年度東区×教育機関連携公開リレー講座 アンケート結果

アンケート実施日：2014年10月9日(木)

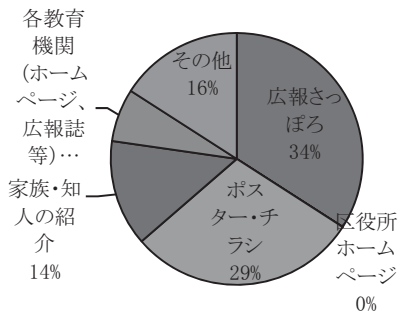
1. 年齢及び性別についてお聞かせください。

<年齢>

<性別>



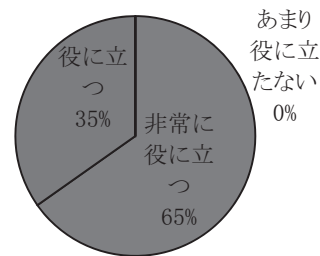
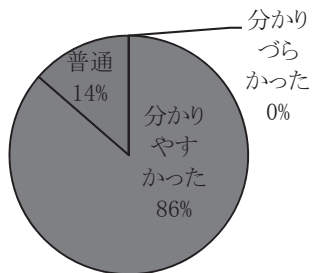
2. この講座を何でお知りになりましたか？(複数回答可)



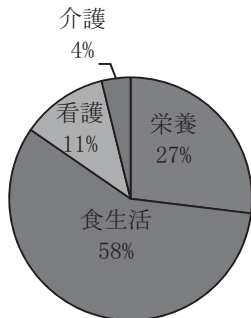
●2コマ目：天使大学

2-1 今回の講座は分かりやすい内容でしたか？

2-2 講座の内容はあなたの役に立つものでしたか？



2-3 今後聞いてみたい講座のジャンルは何ですか。



VI. 社会貢献

担 当：東日本大震災復興支援プロジェクト

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 被災地や被災地の方々を支援する。 2. ボランティア参加学生を支援する。 3. 復興支援活動を学生の教育に活かし、専門職業人として不可欠な知識や技術の習得に役立てる。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 被災地や被災地の方々を支援する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 募金活動 活動資金を確保するため教職員へ向けて募金活動を行い、多数の賛同を得た。 2) 天使祭への出店 リーフレットでの「活動内容の紹介」と、東北地方の郷土料理「せんべい汁」や産物の販売を行って好評を得、被災地に関心を持ってもらう機会とすることができた。 3) ボランティア講演会の開催 2015年1月13日にHOSUP（北海道学生震災支援ネットワーク）のメンバー2名を招聘して講演会を開催した。参加者は60名程度であったが、学生主体の団体ならではの柔軟で行動力のある活動が紹介され、学生がボランティア活動に関心を持ち、被災地支援を考えるきっかけとなった。 4) 復興支援プロジェクト通信の発行 5) 天使大学リポジトリへのレシピブックの収載 「アレンジレシピ集～1つの料理がこんなに変わる！」と「東北の食材を用いた季節のお祝いレシピ～心が和む折り紙を添えて」をリポジトリに収載した。また、リポジトリ収載を契機に、「ほっとニュース北海道」（NHK札幌放送局、3月11日放送）で取り組みを生中継で取り上げて頂き、本プロジェクトの活動を広く紹介することができた。学生5名が収録に協力してくれた。 2. ボランティア参加学生を支援する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 復興支援プロジェクト掲示板の更新 2) ボランティア助成金 助成金額を15,000円から20,000円に増額したが、ボランティア活動参加者数は前年度より7名減少し、参加者数増加には繋がらなかった。 3. 復興支援活動を学生の教育に活かし、専門職業人として不可欠な知識や技術の習得に役立てる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) ボランティア報告会の開催 被災地でボランティア活動に従事した学生の体験を共有する報告会を2回開催した。参加者は1回目が35名程度、2回目が60名程度であったが、震災を風化させないために継続実施する必要がある。さらに、ボランティア活動に参加した学生の報告から、ボランティア活動で役に立つ教育的支援の必要が高まった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア参加学生数の増加につながる対策を検討する。 2. シンポジウムを10月に開催し、被災地へ関心を持ってもらう機会を設ける。 3. ボランティア活動に役立つ教育的支援を1月に実施する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>多様な形で、支援に取り組んできたことを評価します。</p> <p>震災から5年目に向かいます。対象者の置かれた状況の変化、支援の進め方など、再考が求められる点を含めて、今後の活動の方向性の検討を期待します。</p>

Ⅶ. 学生生活

担当：学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の生活・健康に関する支援活動を行う 2. 学生会活動に関する支援活動を行う 3. 学生生活全般に関する支援活動を行う 4. 国際交流活動に関する支援活動を行う 5. 学生生活についての調査実施・評価を行う 6. 行事のあり方、内容、時間についての検討を行う
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 喫煙防止対策として、入学式での父母へのパンフレット配布、アッセンブリー・アワーでの学生委員(教員)による新入生対象の禁煙セミナーを実施した。禁煙セミナーは中高生の喫煙率の低下傾向もあり、一定の評価を得ている。 2. 保健相談室・学生相談室主催のミニ講座等は、いずれも好評であった。学校医による健康相談を希望者に実施する体制を継続している。 3. 保健相談室ニュースを3回、学生相談室ニュースを2回発行し、健康に関する情報発信を行い好評であった。 4. 学生相談室は、例年同様の利用状況であった。休学者の復学支援のため、学生支援教員と学生相談室の連携を提案し、実践されるようになった。 5. 学生生活における啓発教育(薬物乱用・カルト等)を新学期の早い時期に1年生に実施しているが、参加学生数も多く、注意喚起になっている。2年生対象の薬物乱用防止セミナーについても専門的な内容の評価が高かった。AED講習会は実技がしやすいように学科別に実施したが、授業との関係で看護学科1年生の受講率が低かったため、今後は当該学科・学年の授業予定を考慮して開講日を設定する。防犯対策としての護身術講座は東区警察署へ講師を依頼し開講、多くの学生が参加し啓発活動に一定の効果がみられた。今後も継続が必要である。 6. 天使祭に向けた学生生活の支援では、葦の会役員を中心に世界をテーマに企画を考案しスムーズな運営ができていたが、模擬店の衛生管理に問題がみられた。そのため、調理工程に関する衛生管理マニュアル作成などで支援を行っていく。学生会活動の支援(葦の会活動・クラブ活動等)では、次年度役員を対象にリーダー研修を支援(1回/年)し、一定の効果が得られた。 7. 葦の会役員(新・旧)、学生委員会、学務課との交流会は、葦の会役員の次年度への引継や、教職員と学生との意見交換の機会となり、意義あるものであった。 8. 海外研修については学生のアンケートや話し合い、予算、安全性、対象国の国内状況、異文化交流としてふさわしい地域であるか等の検討により、海外研修先をマレーシアとして企画、参加希望学生数16名と催行人数に達し、実施することができた。 9. 避難訓練の実施の要望を大学に提出し、防災計画の作成や来年度の避難訓練実施に繋がった。 10. 4年に1度の「学生生活についての調査」を実施した。その評価を学生支援の貴重な資料として活用してゆく。 11. 健康調査票の実施について提案し、来年度より全学生に対して実施することが決まった。 12. 行事のあり方、内容、時間についての検討については、それぞれの行事ごとに検討しながら支援を行ったが、今後も引き続き検討することが必要と考える。 13. 「ぴあの会」活動に参加を希望する学生が7名となり、学生への呼びかけが一定の効果をあげた。 14. 2010年度に栄養学科ロッカー室前、2013年度に看護学科ロッカー室前に防犯カメラを設置し、また、掲示やロングホームルーム等で啓発活動を行ったことにより、盗難に関する届け出はなかった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ぴあの会」活動への参加希望者が7名となり、支援される側ではなく支援する側の学生の育成を充実させたい。 2. 対象学年に合わせた講演会や啓発活動等の年間計画立案。 3. マレーシア海外研修の実績を踏まえ、今後のあり方と充実についての検討継続。 4. 学生の健康調査票の運用についての検討の継続。 5. 「学生生活についての調査」の評価の効果的な活用。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学生が主体となった取り組みを一層推進するため、学生スタッフの充実とアンケート調査による学生意見の採択や活動支援により、学生間の活力ある学生生活への意欲を高めるよう期待します。</p>

Ⅶ. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教行事関係の企画運営 2. 学生へキリスト教精神を理解してもらう 3. 教職員に建学の精神を理解してもらう 4. 教育理念に即した環境の整備 5. 教育理念に関する研修会への参加 6. カトリックセンターとの連携 7. アッセンブリーアワーの調整
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教行事関係の企画運営 <ol style="list-style-type: none"> 1) 委員長が行事を企画し、委員が協力して実施した（学務課職員が日程掲示）。 <ol style="list-style-type: none"> ①特別のミサ：イースターの集い、死者のための追悼ミサ、クリスマスの集い 新年のミサ、退職する教職員への感謝ミサ、修了・卒業感謝のミサ ②毎週のミサ：前期7回、後期9回 ③各種の儀式：マリア様の戴冠式、ツリー点灯式、クリスマス聖歌放送、灰の儀式 2) 学生に建学の精神にふれる機会を提供した。 2. 学生へキリスト教精神を理解してもらう <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生支援教員の協力のもとで行事を実施、或いは行事の一部を担当した。 <ol style="list-style-type: none"> ①各学科の修養会：ケン委員が「講話」「祈り」「感謝のミサ」などを担当した。 ②チャペルアワー：小原委員長が実施した。 ③アッセンブリーアワー：ケン委員が宗教関連の「講話」を担当した。 2) 「カトリック医療関連学生セミナー」に5名の学生が参加した。 <ol style="list-style-type: none"> ①学務課職員が学内掲示で募集を募り、説明会を行った。 ②学務課職員の指導下で学生が講演内容をアッセンブリーアワーで発表した。 ③参加学生によれば、満足度が高かった。 3. 教職員に建学の精神を理解してもらう <ol style="list-style-type: none"> 1) 「教職員修養会」をカトリックセンターが企画し、委員会が実施した。 2) アンケートによれば、満足度が高かった。 4. 教育理念に即した環境の整備 <ol style="list-style-type: none"> 1) 聖像の設置：学生ラウンジに聖像を設置する予定であったが、設置しなかった。 2) 生花の装飾：毎週月曜日に菊池委員が聖堂内部に生花を飾った（四旬節を除く）。 5. 教育理念に関する研究会への参加 <ol style="list-style-type: none"> 1) キリスト教学校教育懇談会委員会の行事が多く、参加する余裕がなかった。 2) カトリック看護大学連絡協議会：同上。 6. カトリックセンターとの連携 <p>カトリックセンターとの連携は良好である。</p> 7. アッセンブリーアワーの調整 <p>学務課職員が各学科や委員会に確認し、調整を行っている。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教行事への参加率が低下しているが、積極的に宗教行事を実施する。 2. 修養会やチャペルアワーの担当者が内省性を深めるための行事運営を心がける。 3. チャペルアワーの実施に当たり学生支援教員の協力を積極的に仰ぐ。 4. 体育館で行う行事の場合、学務課と事前に相談して設営時間の確保に努める。 5. 前年度退職したシスター沢に代るシスターの補充をカトリックセンターに要望する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>キリスト教の精神の理解と深化のため、カトリックセンターと連携をして人材の確保や修養会などの企画の充実を図り、宗務関係行事への学生や教員の積極的な参加者数が増加するように期待します。</p>

VIII. 就職支援

担 当：就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 就職率100%達成のための支援活動を行う。 2 就職活動への動機付け強化を行う。 3 栄養教諭への就職の支援を行う。 4 私大協への協力と情報交換を行う。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職率100%達成のための支援活動を行う。 1)就職率100%達成のために別表の通り、就職ガイダンスを行っている。 2)就職決定率は、看護学科100%、栄養学科91.8%であった。(卒業式時点) 前年度に比べると栄養学科の就職率は上がっている。 (前年度看護学科98.8%、栄養学科81.4%) 卒業生の就職支援については、新卒学生や既卒学生についても就職支援を行っている。 特に新卒学生については、卒後1年間、就職するまでEメールで情報提供をおこなっている。 2. 就職活動への動機付け強化を行う。 1)就職活動を学生が自発的能動的に行わせるために、前期の就職ガイダンスで栄養学科には「就職サイトの使い方及び企業インターンシップの紹介」を行い看護学科には「病院選ぴとサイトの使い方及び主な試験内容」を行った。 その結果、3年次生の初めより、就職活動を意識する学生が増えた。 2)対面コミュニケーション能力が低い学生が増えてきたので、今年度より低学年から「コミュニケーション能力アップのためのグループワーク」を他学年や他学科と行った。 時期によっては、参加人数が低かったが、参加者からは感想では満足度が高かった。 3. 栄養教諭及び公務員への就職の支援を行う。 1) 教職課程委員会と連携して支援を行った。2014年度は北海道教育委員会の合格者が2名であった。 2) 札幌市栄養職の合格者は3名であった。 3) 厚生労働省食品衛生監視員1名、北海道庁食品衛生監視員1名であった。 4 私大協への協力と情報交換を行う。 1) 今年度より、一般企業の就職活動時期が変更となり、前年度より後ろ倒しとなった。 他大学や私立大学協会の主催する研修会で情報収集し、就職活動を行う学生達に情報提供を行った。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職支援については、混雑時には就職相談を受けることができなかったと就職相談員より報告があった。大学認証評価でも就職希望者に対する就職決定者の割合が高いと評価されているので、体制を維持するには、相談室の増員が急務である。また、学生のアンケートにも相談員増員の要望が強くある。 2. 就職ガイダンスについては、今年度より「コミュニケーション能力アップのためのグループワーク」を行ったが、一委員会で行うのは限界があるため、全学的に学生をどう育成するのか検討し、どのような能力を育成するのか議論が必要である。 3. 栄養職以外の公務員を受験する学生も増えているので、情報提供が必要と考える。 4. 今年度からの就職活動時期の変更については、遵守する企業としない企業がわかれているのとインターンシップに名を借りた企業説明会を行っているところもあるので、注意が必要である。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>就職支援については学生の関心も高く、就職率のさらなる向上のために積極的な情報収集ときめの細かい対応が必要であることから、就職相談室と各学科との密接な連携のもと、環境の変化に柔軟に対応した支援のあり方を検討してください。</p>

IX. 図書館

担 当：図書情報委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機関リポジトリの構築と管理及び運用に関する規程整備 2. 機関リポジトリの周知と愛称募集 3. 図書館オリエンテーションや文献検索ガイダンスの見直し 4. 図書館ホームページの維持管理と Facebook 機能の活用 5. 洋雑誌の利用頻度調査結果に基づく継続購読見直しと電子ジャーナルへの切り替え 6. 図書館内利用のためのノートパソコン貸出サービス開始：情報処理システム参照 7. 日本カトリック大学連盟図書館協議会総会および実務研究会当番校(藤女子大と共催) 実施日：2014年6月27日(金) 会場：藤女子大学 8. 将来構想等への新館建築素案の提示(情報処理室を含む)準備 9. 防災に関する計画の策定と必要備品等の準備(情報処理室を含む)
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国立情報学研究所の共用リポジトリを利用し、予定どおり2014年4月1日に運用を開始した。管理運用規程を策定し、当初は紀要と博士論文を収録した。 現在、紀要137件、博士論文8件、震災プロジェクトのレシピ集2件の計147件が収録され、ダウンロード数15,312件、閲覧数8,862件となっている。 2. 馴染みにくい機関リポジトリに関心をもっていただくため、愛称募集を実施。一般の方を含めた投票で『Snowdrop』に決定した。現在 Snowdrop の球根を育成中。 3. 講義時間中の文献検索ガイダンスに止まらず、積極的に文献検索を行おうとするあるいは高学年で文献検索ができない学生を対象に希望に応じたガイダンスを実施。アクティブ・ラーニングへの糸口となることを期待している。 4. Facebook の活用で、図書館ホームページの閲覧が増加している。学生の関心を高め、自主的学習の場としての図書館活用を支援していきたい。 5. 各学科・科・研究科の委員を通じて、利用頻度調査結果に基づく継続購読の見直しを行い、洋雑誌についてはほとんどが電子ジャーナルに切り替えられた。研究室からでも、時間的制約を受けることなく閲覧やプリントアウトができる。エルゼビア社の購読価格規模維持という理不尽な制度については、JUSTICEなどのコンソーシアムを通じて改善のための働きかけを行っている。 6～9. 計画のとおり実施ないしは他部署と連携して次年度実施計画に盛り込んだ。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機関リポジトリの運用：収録コンテンツの整備計画策定と実施 2. アクティブ・ラーニングを支援する文献検索ガイダンスの実施 3. 図書館ホームページの維持管理と Facebook 機能の活用 4. 洋雑誌の利用頻度調査結果に基づく見直しと電子ジャーナルへの切り替え 5. 将来構想等への新館建築素案の提示(情報処理室を含む) 6. 登録図書の計画的除籍及び廃棄(譲渡)と移管研究費図書の再活用の実施 7. 防災対策と必要備品等の準備(情報処理室を含む) 8. 北海道地区私立大学図書館協議会幹事館としての活動(研究会開催など)
自己点検 評価委員会 からの評価	<p>活動目標に基づき適切に実施していることを評価します。また、機関リポジトリの愛称募集や Facebook の活用など、学生の関心を高める取り組みも評価できます。次年度は、アクティブ・ラーニングを支援する文献検索ガイダンスの実施など、学生の学ぶ力を高める図書館サービスの充実を期待します。</p>

X. 情報処理システム

担 当：図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN ネットワーク、無線 LAN 環境の整備・維持管理 2. 図書館の貸出サービス用パソコンの維持管理と栄養君等のインストール 3. Web フィルタリングサーバの更新 4. 情報処理室(4301・4302)フロアカーペット張り替え 5. 情報処理事務室のパソコン入れ替えおよびエアコン設置 6. 情報処理室授業支援システムの利用促進 7. 遠隔地実習支援のための会議システム Live On の利用案内 8. 大学ホームページ内に情報処理室ページ作成及び利用マニュアル等の改訂 9. 学内 LAN 掲示板の充実と利用促進 10. 情報処理室夜間アルバイト2名体制の継続及び平日閉室時刻 21 時まで延長 11. 情報セキュリティに関する情報収集と対策(規程整備など)
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1～8：計画のとおり、すべて実施した。特筆すべき事項は以下のとおり。 2. 図書館貸出用ノートパソコンは、情報処理室が使用できない土日祝日に利用できないため、稼働率は極めて高い。次年度は使用時間に対応可能なバッテリーを導入。 7. 会議システム Live On の導入により、助産の実習並びに教授会は遠隔地と結んで行われ、順調に推移している、 今年度はさらに科研費獲得のための講習会を九州の久留米と結んで実施し、出張困難な講師による講習会開催を実現した。録画 CD の貸出で欠席者にも対応した点は高く評価できる。 9. 学内 LAN 掲示板の充実については、各研究室および事務室から教室の使用予約ができる方法を局課長会議に提案したが、実施には至らなかった。今後も創意工夫し、学内のコンセンサスを得て、利用促進を図ることに務めたい。 常務理事から指示のあったデジエによる業務分析用の勤務時間集計票については数か月試行したが、事務分掌に基づく集計コードでは分析用データが得られないことから、局課室長会議で検討の結果、導入を取り止めた。 10. 情報処理室内は機器のトラブルを回避するため、飲食厳禁としている。しかし、飲食者は絶えずおり、利用者としてのマナーに欠けている学生が多い。次年度に向け、対策を講ずることとした。 11. 情報セキュリティに関する講習等については毎年参加して情報収集をしており、対応の遅れがないよう配慮している。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理 2. 情報処理室授業支援システム、学内 LAN 掲示板の利用促進 3. 遠隔地実習や講習会実施を支援するための Live On システムの活用 4. 情報セキュリティに関する情報収集と対策(規程整備など) 5. 事務局内のシステム導入に対応するため、サーバー等の整備を並行して実施
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>貸出用ノートパソコンの維持管理、会議システム Live on の活用等、利用者の利便性向上の取り組みを評価します。次年度は引き続き利便性向上に取り組むとともに、情報セキュリティに関する体制の強化を期待します。</p>

XI. 施設・設備

担当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校舎内のバリアフリー対策 2. 光熱水費の単価の値上げに伴う更なる省エネ化 3. 6号館を中心とした施設設備の点検・修繕 4. 中長期計画に伴う新校舎建築計画の立案
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度は認証評価機構から指摘のあった校舎内のバリアフリー化について対応し、正面玄関の段差解消や3号館と4号館の渡り廊下の段差解消工事を行った。また、2013年度も新校舎建設へ向けて第2号基本金組入れ計画表に基づき第2号基本金引当特定預金への積み立ても計画通り行った。 2. 学生からの要望により休日の暖房運転の延長を行いました。ガス単価が高騰しており、契約内容を変更しながらこまめに使用量を調整したり、休日の自習可能教室を制限することにより光熱水費の上昇を抑えることができた。 3. 今年度、6号館が建築後15年経過することから、学生玄関のシャッター、自動ドア、エレベーター設備等の部品交換・修繕を行った。また、学内の内線電話設備も電話回線に余裕が無くなってきたため、更新工事を行いました。 4. 中長期財務計画および新校舎建築計画については、今年度も策定することができず、2015年度への継続検討課題となっている。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中長期計画に伴う新校舎建築計画の立案
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨年度の指摘した図書館収蔵スペース、ゼミ室、教室の狭隘化の問題を踏まえ、2号基本金組入れと新校舎建設計画の検討状況を示し、中長期的な計画を具体的方策で示してください。</p>

XII. 管理運営

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 「教育研究評議会」、「教授会」および「研究科委員会」などを定期的に開催し、学長のリーダーシップのもとに組織的な教学運営を行う。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教育研究評議会、教授会及び研究科委員会を定期的に開催し、教学事項を審議検討した。 教育研究評議会については、2014年度は毎月開催し、学科、科、研究科、委員会の課題等を検討し、共有に努めた。また、案件によっては書面会議として円滑な運用を図った。 教授会等の審議報告事項については、学園運営連絡会において報告され学園全体として共通理解に努めている。</p> <p>2. 教育研究評議会にカリキュラム検討委員会、大学院課程等増設検討委員会を設置し、カリキュラムの検討や2016年度に看護学専攻保健師課程保健師コースの変更承認申請を準備するなど、横断的な検討を行った</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 「教育研究評議会」、「教授会」および「研究科委員会」などを定期的に開催し、学長のリーダーシップのもとに組織的な教学運営を行う。</p> <p>2. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨年度指摘した点での評価内容となっておりませんので、昨年度もコメントしましたが、大学基準協会の点検評価項目を参考に適切に評価を行ってください。</p>

XIII. 財務

担当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続的な受験者数、入学者数の確保（特に大学院入学者） 2. 外部資金の確保（補助金収入、事業収入等） 3. 教育研究経費の効率的な予算配分（教育研究経費比率の上昇）
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2014 年度を受験申込者総数は 848 名と前年度 878 名から 30 名減少した。内訳は看護栄養学研究科 3 名（前年度 8 名）、助産研究科 27 名（同 38 名）、看護学科 508 名（同 580 名）、栄養学科 299 名（同 252 名）となった。入学予定者については、210 名と入学定員（225 名）を下回ったが、継続的に確保できているため、在籍者総数も 828 名（2014 年 5 月現在）と定員 806 名を上回っている。このため学生生徒等納付金や前受金は安定的に確保できており、財務比率は比較的健全である。 2. 国庫補助金収入については、経常費補助金（一般補助）で 13,881 千円減少し、経常費補助金（特別補助）も 10,112 千円減少したので 200,650 千円と前年度（224,643 千円）より 23,993 千円減少した。事業収入も 13,257 千円と前年度（14,027 千円）により 770 千円減少した。今後は大学全体で経常費補助金を確保していかなければ、収入の増加は見込めない。 3. 教育研究経費比率については、2014 年度は 25.5% となり、全国の保健系学部の平均（29.6%）と比較すると若干低くなっている。教育研究経費については教員の質的向上のため教育・研究の環境を整備し、効率的予算配分に努めることとする。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続的な受験者数、入学者数の確保（特に大学院入学者） 2. 経常費補助金の確保 3. 教育研究経費の効率的な予算配分（教育研究経費比率の上昇）
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>評価内容は昨年度と数字を置き換えているのみで記述内容に変化が見られていませんので、昨年度もコメントしましたが、大学基準協会点検評価項目を参考に適切に評価を行ってください。</p>

XIV. 事務組織

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学運営の効率的で機能的な支援を行うため事務局体制の見直しを検討する。 2. 事務局組織のレベルアップのため、専任職員の研修参加はもとより、同種の業務を行う嘱託職員についても研修の機会の充実を図る。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局組織については、これまでの3課体制から3課（総務課、学務課、図書情報課）2室（財務室・入試広報室）体制として2013年8月に機構改正を行い、職務と責任の範囲を明確にした。 学務課の体制については教務担当、学生担当、就職担当の組織のあり方と、入試広報室の室長の兼任については、今後の人事状況等も勘案しながら検討を進めることにしている。 学務課の教務担当については、新採用の選任職員2名と臨時職員1名を配置したが、その内新採用専任職員1名と臨時職員1名が中途退職したため、派遣職員を配置した。 各課・室の効率的な業務運営を進めるため業務分析を行うこととし、次年度において日計表、業務日誌などを電子処理化し、分析するための準備として業務量のデータ収集を行ったところであるが、業務内容の分析には検討する余地があることから、継続して手段方法を検討することとした。 2. 事務職員の資質の向上のため、事務局全体研修として8月28日にSD研修会を実施し、教職員修養会を12月8日に実施したほか、日本私立大学協会等が開催する各種研修会に職員を参加させ、その際、嘱託職員についても外部研修として各種会議、研修に積極的に参加させ、事務局全体のレベルアップに努めた。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学運営の効率的で機能的な支援を行うための事務局体制の見直しを検討する。 2. 事務局組織のレベルアップのため、専任職員・嘱託職員を積極的に各種会議・研修会に参加させるなど研修機会の充実を図る。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>次年度の課題が昨年と同様です。大学基準協会点検評価項目を参考に適切に評価を行い、次年度への課題は具体的に示してください。</p>

XV. 自己点検・評価活動

担当： 自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学における自己点検活動のあり方継続的検討 2. 認証評価結果の課題に対する全学的進捗状況の確認 3. 2013 年度年報作成および活動報告会の実施と評価
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部質保証を目指した自己点検活動を検討し、教育研究評議会へ今後のあり方について提案を行った（2015 年 3 月）。その内容は、年報などによる評価をもとに大学における課題を明確にして、課題の改善へとつなげる全学的な自己点検評価システムを目指すものである。今後は、教育研究評議会で速やかに検討され 2015 年度は全学的評価活動の展開を目指すことになった。 2. 2011 年度大学評価の課題については、各委員会に改善の進捗状況を確認し年度末には 2015 年度 7 月の報告の準備がほぼ整った。カリキュラム等の努力課題は継続的に関係機関で検討中である。 3. 2013 年度年報作成 看護栄養学部の 2013 年度版は昨年度よりは早くほぼ予定通り前期には発刊した（7 月）。助産研究科の年報は 2012 年度、2013 年度の 2 年分を今年度発刊した。 2013 年度年報作成にあたり継続的に以下の点を意識するものとした。①目標、内容は特に年度で焦点化したものを明確にする。②活動内容と評価は数値化されるデータ等は具体的に示し分析・評価を明確にする。③ 次年度の改善策は具体的にする。 4. 年度末報告会の実施（3 月 23 日） 学内全体での課題の共有と各委員会の連携などをめざし年度末に実施した。報告会は昨年度までの反省を基に委員長の全プログラムへの参加を依頼し、昨年に比べ参加者は多かった。運営は時間配分を改善し昨年より短時間で効率的に進めた。 5. 助産研究科の認証評価 課題については、当該部署にて継続的に検討中だが、一部回答したものもある。継続的検討を進める。 <p>以上、自己点検活動は年度末報告会の開催などを通して全学的な取り組み、PDCA サイクルとなる取り組みのための努力段階といえる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部質保証を目指した大学の自己点検活動の展開 2. 前回認証評価における課題の確認と提出 3. 年報の作成および報告会の実施（PDCA サイクルとなるものを目指す）
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>自己点検・評価結果を教育研究評議会へ報告して課題の共有を目指しました。さらに課題解決のための PDCA サイクルにおける「Act」に係る本学のシステムを構築していきたいと考えています。（学長）</p>

自己点検・評価資料

目 次

I. 学事歴	29
II. 2014年度開講科目一覧	33
1. 教養教育科	33
2. 看護学科	34
3. 栄養学科	36
4. 教職課程	38
5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士前期課程）	39
6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士後期課程）	39
7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程）	40
III. 学生数・奨学金の採用状況	41
IV. 国家試験合格率	42
V. 就職・進学状況	43
VI. 2014年度入学試験結果	45
VII. 教員組織	46
VIII. 事務組織	47
IX. 研究等の活動	48
X. 組織図	51
XI. 会議の開催状況	52
XII. 委員会構成一覧	60
XIII. 委員会の活動報告	61
XIV. 図書館の利用状況	77
XV. 情報処理室の利用状況	78
XVI. 施設・設備の状況	79
XVII. 財務状況	81

I. 学事暦 (看護栄養学部)

【前期】										行事予定等		臨地実習			
日	月	火	水	木	金	土					看護学科	栄養学科			
4月			1	2	3	4	5	2日(水) :13:00 3日(木) 3日(木) 4日(金) 4日(金)~5日(土) 5日(土) 4日(金)~10日(木) 7日(月)~11日(金) 19日(土) 23日(水)午前				入学式 新入生オリエンテーション 2~4年次ガイダンス 前期始講 新入生(1年次)宿泊研修「出会いと親睦のゼミ」 定期健康診断(3.4年次) 履修登録期間(2~4、栄編3・4年次) 同上(1年次) 定期健康診断(1.2年次) 始業ミサ、イースターの集い・学生総会			
	6	7	8	9	10	11	12								
	13	14	15	16	17	18	19								
	20	21	22	23	24	25	26								
	27	28	29	30											
5月				1	2	3									
	4	5	6	7	8	9	10								
	11	12	13	14	15	16	17	14日(水)午後							
	18	19	20	21	22	23	24								
6月	25	26	27	28	29	30	31								
	1	2	3	4	5	6	7								
	8	9	10	11	12	13	14								
	15	16	17	18	19	20	21	12日(木)午後 13日(金)~14日(土) 28日(土)							
7月	22	23	24	25	26	27	28								
	29	30													
			1	2	3	4	5	5日(土)							
	6	7	8	9	10	11	12	12日(土)							
	13	14	15	16	17	18	19	18日(金)~25日(金)							
8月	20	21	22	23	24	25	26	26日(土)							
	27	28	29	30	31			28日(月)~8月1日(金)							
					1	2									
	3	4	5	6	7	8	9	5日(火)~7日(木)							
	10	11	12	13	14	15	16								
授業期間	17	18	19	20	21	22	23								
	24	25	26	27	28	29	30	25日(月)~27日(水) 25日(月)~26(火)							
	31														
	主たる受講年次が看2・3年次科目 主たる受講年次が看4年次科目 主たる受講年次が栄2~4年次科目 主たる受講年次が1年次科目							4月4日(金)~7月17日(木) 4月4日(金)~5月9日(金) 4月4日(金)~7月26日(土) 4月7日(月)~7月26日(土)							
臨地実習	看2年次 基礎看護学臨地実習Ⅱ 看3年次 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ 看4年次 健康生活看護学臨地実習 (母性、小児、老年、成人Ⅰ・Ⅱ、統合Ⅱ) (精神、統合Ⅰ) 在宅看護学臨地実習 栄4年次 給食経営管理論実習Ⅲ 給食経営管理論実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ 公衆栄養学実習Ⅱ 栄養教育実習 栄編4年次 栄養学科臨地実習							8月25日(月)~9月5日(金) 9月1日(月)~10月31日(金) 5月12日(月)~8月1日(金) 5月12日(月)~8月1日(金)、9月1日(月)~9月26日(金) 5月26日(月)~30日(金) 8月18日(月)~9月19日(金)のうち5日間 8月11日(月)~9月19日(金)のうち15日間 5月19日(月)~6月6日(金)、8月11日(月)~9月19日(金)のうち5日間 6月2日(月)~6月6日(金) ※栄編4年次の8月中の実習は8月11日(月)~8月29日(金)							
	看1年次 看2年次 看3年次 看4年次 栄1・2年次 栄3・編3年次 栄4・編4年次							8月2日(土)~9月15日(月) 7月26日(土)~8月24日(日) 7月26日(土)~8月31日(日) 8月2日(土)~8月31日(日) 8月2日(土)~9月15日(月) 8月2日(土)~8月31日(日) 7月27日(日)~8月10日(日)							
	夏期休暇														

I. 学事暦 (看護栄養学部)

【後期】							行事予定等		臨地実習	
日	月	火	水	木	金	土			看護学科	栄養学科
9月	1	2	3	4	5	6	1日(月) 3日(水)～5日(金) 16日(火) 16日(火)～22日(月) 22日(月) 22日(月)～26日(金) 22日(月)～26日(金) 30日(火)	主たる受講年次が栄3年次科目後期学内授業始講 栄3年次後期履修登録変更期間 主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目後期学内授業始講 看1、栄1・2年次後期履修登録変更期間 主たる受講年次が看2、栄4年次科目後期学内授業始講 看2、栄4年次後期履修登録変更期間 2年次教養科目履修登録変更期間 前期卒業証書・学位記授与式	看4	栄4
	7	8	9	10	11	12			看2	
	14	15	16	17	18	19			看3	
	21	22	23	24	25	26				栄3
10月	1	2	3	4	5	6				栄3
	5	6	7	8	9	10	14日(火) 14日(火)～20日(月) 14日(火)～15日(水) 17日(金)午後	主たる受講年次が看4年次後期学内授業始講 看4年次後期履修登録変更期間 栄2年次修養会 栄2ステップ・アップ・セレモニー	看1	栄3
	12	13	14	15	16	17			看1	
	19	20	21	22	23	24				栄3
11月	25	26	27	28	29	30				栄3
	2	3	4	5	6	7	4日(火) 4日(火)～10日(月) 12日(水)～13日(木) 26日(水)午後 29日(土)	主たる受講年次が看3年次後期学内授業始講 看3年次後期履修登録変更期間 看2年次修養会 看2戴帽式 開講日		
	9	10	11	12	13	14				
	16	17	18	19	20	21				
12月	23	24	25	26	27	28				
	28	29	30	31			2日(火)～3日(水) 4日(木) 8日(月) 11日(木)～12日(金) 13日(土) 16日(火)午後 20日(土) 23日(火) 25日(木)	栄3年次修養会 体育祭 創立記念日 看3年次修養会 開講日 学生クリスマスの集い・学生総会 開講日 冬期休暇開始 キリスト降誕祭		
	1	2	3	4	5	6				
	7	8	9	10	11	12				
1月	14	15	16	17	18	19				
	21	22	23	24	25	26				
	28	29	30	31			10日(土) 15日(木)～16日(金) 29日(木)～2月4日(水)	冬期休暇明け始講・開講日 栄4年次修養会 主たる受講年次が1～3年次科目定期試験	看2	
	4	5	6	7	8	9				
2月	11	12	13	14	15	16				
	18	19	20	21	22	23				
	25	26	27	28	29	30				
	1	2	3	4	5	6	4日(水)・5日(木)・9日(月) 24日(火)～26日(木)	主たる受講年次が4年次科目追・再試験 主たる受講年次が1～3年次科目追・再試験		栄3
3月	8	9	10	11	12	13				
	15	16	17	18	19	20				
	22	23	24	25	26	27				
	29	30	31				11日(水) 12日(木) 13日(金)10:00～	看4年次修養会 修了・卒業感謝のミサ 卒業証書・学位記授与式		
授業期間	主たる受講年次が栄3年次科目 主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目 主たる受講年次が看2年次科目 主たる受講年次が栄4年次科目 主たる受講年次が看4年次科目 主たる受講年次が看3年次科目						9月1日(月)～1月28日(水) 9月16日(火)～1月28日(水) 9月22日(月)～1月28日(水) 9月22日(月)～1月26日(月) 10月14日(火)～1月26日(月) 11月4日(火)～1月28日(水)			
	臨地実習	看1年次 基礎看護学臨地実習Ⅰ						10月9日(木)・10日(金)・16日(木)・17日(金)(いずれも午前) 10月28日(火)・29日(水)・11月4日(火)・5日(水)(いずれも終日) 8月25日(月)～9月5日(金) 11月7日(金)～1月23日(金)の毎週金曜日(クラス別隔週実施)		
看2年次 基礎看護学臨地実習Ⅱ (再掲) 老年看護学臨地実習Ⅰ						9月1日(月)～10月31日(金)				
看3年次 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ						(再掲)				
看4年次 健康生活看護学臨地実習 (精神・統合Ⅰ) 在宅看護学臨地実習 健康生活看護学臨地実習(地域)Ⅰ・Ⅱ						(再掲)				
栄3年次 給食経営管理論実習Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅲ						9月1日(月)～10月10日(金) 10月6日(月)～10月10日(金) 11月3日(月)～21日(金)のうち10日間				
栄編3年次 栄養学科臨地実習						2月27日(金)～3月12日(木)				
栄4年次 給食経営管理論実習Ⅳ (再掲) 臨床栄養学実習Ⅴ (再掲) 公衆栄養学実習Ⅱ (再掲)						8月18日(月)～9月19日(金)のうち5日間 8月11日(月)～9月19日(金)のうち15日間 5月19日(月)～6月6日(金)、8月11日(月)～9月19日(金)のうち5日間				
栄編4年次 栄養学科臨地実習 (再掲)						※栄編4年次の8月中の実習は8月11日(月)～8月29日(金)				
冬期休暇						12月24日(水)～1月9日(金)				

I. 学事暦（大学院看護栄養学研究科）

【前期】

		日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
4月				1	2	3	4	5	2日(水) : 13:00 3日(木) 4日(金) 5日(土) 4日(金) ~ 12日(土)	入学式・専攻別オリエンテーション ガイダンス 前期授業開始 定期健康診断 履修登録期間
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
5月						1	2	3	23日(水)午前 24日(木)午前	始業ミサ、イースターの集い 研究計画発表会（看護学専攻）
	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
6月										
	1	2	3	4	5	6	7			
	8	9	10	11	12	13	14			
	15	16	17	18	19	20	21			
7月									3日(木) 15日(火) ~ 18(金)	中間発表会（栄養管理学専攻） 修士論文・博士論文の提出
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
8月							1	2	1日(金) 25日(月) 13:00まで	学位論文発表会（博士前期課程・博士後期課程） 論文審査会（修士論文、博士論文） 修正済み論文提出
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
9月									8日(月) 20日(土) 26日(金) 17:00まで 30日(火)	後期授業開始 大学院前期入学試験 研究計画書提出（看護学専攻） 前期修了証書・学位記授与式
	31	1	2	3	4	5	6			
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20			
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30							

I. 学事暦（大学院看護栄養学研究科）

【後期】

		日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
10月					1	2	3	4		
		5	6	7	8	9	10	11		
		12	13	14	15	16	17	18		
		19	20	21	22	23	24	25		
		26	27	28	29	30	31		29日(水)	研究計画発表会（看護学専攻）
11月								1		
		2	3	4	5	6	7	8		
		9	10	11	12	13	14	15		
		16	17	18	19	20	21	22		
		23	24	25	26	27	28	29		
		30								
12月		1	2	3	4	5	6			
		7	8	9	10	11	12	13	8日(月)	創立記念日
		14	15	16	17	18	19	20	16日(火)午後	学生クリスマスの集い
		21	22	23	24	25	26	27	25日(木)	キリスト降誕祭
		28	29	30	31					
1月					1	2	3			
		4	5	6	7	8	9	10		
		11	12	13	14	15	16	17	13日(火)～20日(火)	修士論文、博士論文の提出
		18	19	20	21	22	23	24	24日(土)	大学院後期入学試験
		25	26	27	28	29	30	31		
2月		1	2	3	4	5	6	7	5日(木)	学位論文発表会（博士前期課程・博士後期課程） 論文審査会（修士論文。博士論文）
		8	9	10	11	12	13	14	14日(土)	後期授業終了（栄養管理学専攻）
		15	16	17	18	19	20	21	19日(木)17:00まで	修正済み論文提出
		22	23	24	25	26	27	28	26日(木)	後期授業終了（看護学専攻）
3月		1	2	3	4	5	6	7		
		8	9	10	11	12	13	14	12日(木)	修了・卒業感謝のミサ
		15	16	17	18	19	20	21	13日(金)10:00～	修了証書・学位記授与式
		22	23	24	25	26	27	28	31日(火)17:00まで	研究計画書提出（看護学専攻）
		29	30	31						

II. 2014年度開講科目一覧

1. 教養教育科目

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分			振替科目 2005～2008年度 (みなし)入学生 対象教育課程
				必修	選択	講義	演習	実習	
共通 科目 基礎	基礎学修演習	1	前	1			1		基礎学修論
	教養演習	1	後		1		1		教養特論
	情報処理演習	1	前		1		1		◎
人間と 宗教	キリスト教学概論	1	前	2		2			キリスト教学
	人間学	1	前	2		2			◎
	聖書の講読	2	前		▲2	2			◎
	宗教学	2	前		▲2	2			◎
	キリスト教学特論	1	後		▲2	2			
人間と 文化	発達と学習の心理学	1	後		2	2			◎
	カウンセリング概論	1	後		2	2			◎
	倫理学	1	後		2	2			◎
	音楽概論	1	後		2	2			◎
	美術概論	1	後		2	2			◎
	民族と異文化理解	1	後		2	2			◎
人間と 社会	法学（日本国憲法）	1	前		2	2			◎
	社会学	1	前		2	2			◎
	現代の経済	1	前		2	2			現代の経済と家庭
	近現代の日本	1	後		2	2			◎
	生活と福祉	1	後		2	2			◎
	現代社会と生活	1	後		2	2			◎
	対人関係の心理学	1	前		2	2			◎
自然 人間と 科学	化学	1	前		2	2			◎
	生物学	1	前		2	2			◎
	統計処理 I	1	後	2		2			◎
	統計処理 II	2	前	2		2			◎
人間と 外国語	英語 IA	1	前	1			1		英語 I ※ IA、IB修 得
	英語 IB	1	後	1			1		
	英語 IIA	2	前		1		1		英語 II
	英語 IIB	2	後		1		1		
	オーラルイングリッシュ IA	1	前	1			1		オーラルイン グリッシュ I ※ IA、IB修 得
	オーラルイングリッシュ IB	1	後	1			1		
	オーラルイングリッシュ IIA	2	前		1		1		オーラルイン グリッシュ II
	オーラルイングリッシュ IIB	2	後		1		1		
	フランス語	2	前		1		1		◎
健康と スポーツ	健康とスポーツ I	1	前後		1			1	スポーツ I
	健康とスポーツ II	2	前後		1			1	スポーツ II

◎は2009年度以降入学生対象科目と同一科目名

振替該当学生は時間割等確認のうえ履修計画を立てること

統計処理 I、統計処理 II：編3単独開講 なお統計処理 I は編3のみ前期に開講する

2. 看護学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門 基礎 科目	栄養代謝学	1	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	前	2		2		
	病態治療学 I	1	前	2		2		
	病態治療学 II	1	後	2		2		
	看護薬理学	1	後	2		2		
	病態・治療学 III-1	2	前	2		1	1	
	病態・治療学 III-2	2	後	1			1	
	環境健康論	1	後	2		2		
	社会福祉論	1	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	2	前	2		2		
	生涯発達論	1	前	1		1		
	医療と倫理	2	前	1		1		
	人間関係論	2	前	1			1	
	専 門 科 目	看護学原理	1	前	2		2	
ヘルスアセスメント		2	前	1			1	
看護ケア提供システム論		1	後	1		1		
基礎看護技術論 I		1	前	1		1		
基礎看護技術論 II		1	後	2			2	
基礎看護技術論 III		2	前	1			1	
基礎看護技術論 IV		2	前	2		1	1	
成人看護学 I		2	前	1			1	
成人看護学 II		2	後	2		1	1	
成人看護学 III		2	後	1			1	
成人看護学 IV		3	前	2		1	1	
老年看護学 I		2	前	1		1		
老年看護学 II		2	後	1		1		
老年看護学 III		3	前	2			2	
小児看護学 I		2	後	2		1	1	
小児看護学 II		3	前	2		1	1	
母性看護学 I		2	後	2		2		
母性看護学 II		3	前	2			2	
精神看護学 I		2	後	1			1	
精神看護学 II		3	前	2		2		
精神看護論 III		3	後	1			1	
在宅看護論 I		3	前	1		1		
在宅看護論 II		3	後	2		2		
家族看護学		2	後	1		1		
地域看護学	3	前	1			1		
ホスピス・緩和ケア論	3	後	1		1			
ヘルスプロモーション活動論	3	後		1	1			
リハビリテーション看護学	3	後		1	1			

2. 看護学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専 門 科 目	感染看護学	3	後		1	1		
	基礎看護学臨地実習 I	1	後	1				1
	基礎看護学臨地実習 II	2	後	2				2
	成人看護学臨地実習 I	3	後	3				3
	老年看護学臨地実習 I	2	後	1				1
	老年看護学臨地実習 II	3	後	3				3
	母子看護学臨地実習 I	3	後	1				1
	生と死の看護ゼミ	2	後	1			1	
	看護研究の基礎	3	後	1		1		
	栄養・看護演習	3	前	1			1	
	看護英文講読	3	後		1	1		
	人間形成とキャリアデザイン I	1	前	1		1		
	人間形成とキャリアデザイン II	2	後	1		1		
	人間形成とキャリアデザイン III	3	後	1		1		
	健康生活看護学（地域） IV	4	前		1		1	
	家族看護学 II	4	前		1		1	
	健康生活看護学臨地実習（母性）	3～4	後・前	2				2
	健康生活看護学臨地実習（小児）	3～4	後・前	2				2
	健康生活看護学臨地実習（地域） I	4	後	2				2
	健康生活看護学臨地実習（地域） II	4	後		2			2
	健康生活看護学臨地実習（老年）	3～4	後・前	4				4
	健康生活看護学臨地実習（成人） I	3～4	後・前	3				3
	健康生活看護学臨地実習（成人） II	3～4	後・前	3				3
	健康生活看護学臨地実習（精神）	4	前又は後	2				2
	健康生活看護学臨地実習（統合） I	4	前・後	1				1
	健康生活看護学臨地実習（統合） II	4	前	1				1
	在宅看護臨地実習	4	前又は後	2				2
	看護倫理	4	前	1		1		
	看護管理・看護政策論	4	後	1		1		
	看護教育学	4	前	1		1		
英文文献講読 II	4	前		1	1			
国際看護論	4	後		1	1			
医療人類学	4	後		1	1			
統合看護演習	4	前・後	2			2		

3. 栄養学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分			
				必修	選択	講義	演習	実習	
専門 基礎 科目	人間関係論	1・編3	前	1		1			編3
	公衆衛生学	2	前	2		2			
	健康管理概論	2・編3	後	2		2			編3
	公衆衛生学実習	2・編3	後	1				1	編3
	生涯発達論	1・編3	前	2		2			編3
	医療概論	2	前		2	2			
	生化学 I	1	後	2		2			
	生化学 II	2・編3	前	2		2			編3
	形態機能学 I	1	前	2		2			
	形態機能学 II	1	後	2		2			
	病理学	2	前	2		2			
	微生物学	1・編3	後	2		2			編3
	病態診療学 I	2・編3	後	2		2			編3
	病態診療学 II	3・編3	前	2		2			編3
	生化学実験	2・編3	前	1				1	編3
	形態機能学実習 I	1	後	1				1	
	形態機能学実習 II	3・編3	後	1				1	編3
	有機化学	1	前		2	2			
	食品科学 I	1	前	2		2			
	食品科学 II	1	後	2		2			
	調理学	1	前	2		2			
	食品衛生学	2	前	2		2			
	食品科学実験 I	1	後	1				1	
	食品科学実験 II	3・編3	前	1				1	編3
	調理学実習 I	1	前	1				1	
	調理学実習 II	1	後	1				1	
	食品衛生学実験	2・編3	前	1				1	編3
	食品微生物学実験	2・編3	前	1				1	編3
	食品科学 III	2・編4	後		2	2			編4
	専門 科目	管理栄養士論	1・編3	前	1		1		
基礎栄養学		1	後	2		2			
基礎栄養学実験・実習		2・編3	後	1				1	編3
応用栄養学 I		2・編3	前	2		2			編3
応用栄養学 II		2	後	2		2			
応用栄養学 III		3・編3	後	2		2			編3
応用栄養学実習		3	前	1				1	
免疫と栄養		3	後		1	1			
スポーツ栄養学		3・編3	後		1	1			編3
栄養教育論 I		2	前	2		2			
栄養教育論 II		2・編3	後	2		2			編3
栄養教育論 III		3・編3	後	2		2			編3
栄養教育論実習		3	前	1				1	

3. 栄養学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分			
				必修	選択	講義	演習	実習	
専 門 科 目	カウンセリング演習	3	前		1		1		
	臨床栄養学 I	2・編3	後	2		2			編3
	臨床栄養学 II	3	前	2		2			
	臨床栄養学 III	3・編3	後	2		2			編3
	臨床栄養学実習 I	3	前	1				1	
	臨床栄養学実習 II	3・編3	後	1				1	編3
	公衆栄養学 I	3	前	2		2			
	公衆栄養学 II	3・編3	後	2		2			編3
	公衆栄養学実習 I	3・編3	後	1				1	編3
	栄養・看護演習	3・編3	前	1			1		編3
	給食経営管理論 I	2	前	2		2			
	給食経営管理論 II	2・編3	後	2			2		編3
	給食経営管理論実習 I	2	後	1				1	
	総合演習 I	3・編3	前・後	1			1		編3
	英文文献講読	3	後		1		1		
	給食経営管理論実習 II (学外実習)	3	後	1				1	
	臨床栄養学実習 III (学外実習)	3・編3	後	2				2	編3
	学校栄養指導論 I	3	前		2	2			
学校栄養指導論 II	3	後		2	2				

3. 栄養学科

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分			
				必修	選択	講義	演習	実習	
専 門 基 礎 科 目	保健医療福祉システム論	4編4	前	1		1			編4
	環境食事論	4編4	後		1	1			編4
	食文化論	4編4	後		1	1			編4
専 門 科 目	国際栄養学	4編4	後		1	1			編4
	臨床栄養学IV	4編4	前	2		2			編4
	臨床栄養学実習IV	4編4	前	1				1	編4
	地域栄養活動演習	4編4	前		1		1		編4
	フードサービス論	4編4	前		1	1			編4
	フードサービス実習	4編4	前		1			1	編4
	総合演習 II	4編4	前・後	2			2		編4
	食といのちのゼミ	4編4	後	1			1		編4
	卒業研究	4編4	前・後		3			3	編4
	公衆栄養学実習 II (学外実習)	4編4	前・後		▲1			1	編4
	給食経営管理論実習 III (学外実習)	4編4	前・後		▲1			1	編4
臨床栄養学実習 V (学外実習)	4編4	前・後		3			3	編4	
給食経営管理論実習 IV (学外実習)	4編4	前・後		1			1	編4	

4. 教職課程

科目 区分	授業科目	受講 年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程 科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	教育課程論	1	後		1	1		
	道德教育論	2	後		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	栄養教育実習	4	前		1			1
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	教職実践演習	4	前・後		2		2	
	教職総合演習	3	後		2		2	

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士前期課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎科目	倫理学特論	1	後	1		1		
	統計学特論	1	前	1			1	
	人間関係論特論	1	後	1		1		
	医療情報・管理学特論	1・2	後		2	2		
専門基礎科目	食品衛生学特論	1	前	2		2		
	食品学特論	1・2	後		2	2		
	食薬理学特論	1・2	前		2	2		
	栄養生理学特論	1・2	前		2	2		
	代謝栄養学特論	1	後	2		2		
	栄養免疫学特論	1・2	後		2	2		
	薬理学特論	1・2	前		2	2		
	保健医療福祉システム特論	1・2	後		2	2		
専門実践科目	家族関係論特論	1・2	前		2	2		
	栄養管理学特論	1	前	2		2		
	栄養疫学特論	1・2	後		2	2		
	健康行動理論	1	前	2		2		
	栄養診断学特論	1	後	2		2		
	栄養管理学総合演習	1	前後	2			2	
	臨床栄養学特論	1	前	2		2		
	栄養管理学特別研究	1～2	前後	4				4
栄養管理学特別演習	1～2	前後	4			4		

6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
共通	研究方法特論	1	前後	4		4		
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	基礎系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	実践系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12

7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	修論コース		上級実践コース		○印 CNS 対象 科目	授業区分		
				単位数		単位数			講義	演習	実習
				必修	選択	必修	選択				
基礎科目	看護理論特論	1	前	2		2		○	2		
	倫理学特論	1	後	2		2		○	2		
	看護研究法Ⅰ	1	前	2		2		○	2		
	看護研究法Ⅱ	1	後		1		1			1	
	看護研究法Ⅲ	1	後		1		1			1	
	統計学特論	1	前		1		1			1	
	看護教育学特論Ⅰ	1	前		2	2		○	2		
	看護教育学特論Ⅱ	1	後		1		1			1	
	看護管理学特論	1	後		2		2	○	2		
	コンサルテーション論	1	後		1	1		○	1		
	医療情報・管理学特論	1・2	後		2		2		2		
	看護政策論	2	後		1	1		○	1		
専門基礎科目	人間関係論特論	1	後		2		2		2		
	がん・緩和疾患病態学	1	前		2		2	○	2		
	薬理学特論	1	前		2		2	○	2		
	保健医療福祉システム特論	1	後		2		2		2		
	健康行動理論	1	前		2		2		2		
	代謝栄養学特論	1	後		2		2		2		
	家族関係論特論	1	前		2		2		2		
専攻分野専門科目	学コ 公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前	2					2	
		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1	前	2					2	
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1	前	2						2
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1~2	後前	2						2
	コ 成人看護学	成人看護学特論Ⅰ	1	前	2						2
		成人看護学特論Ⅱ	1	前	2						2
		成人看護学演習Ⅰ	1	後	2						2
		成人看護学演習Ⅱ	1~2	後前	2						2
	看護学コ ホスピス緩和ケア	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ	1	前			2		○	2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ	1	前			2		○	2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	2	前			2		○	2	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ	1	前			2		○		2
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ	1	後			2		○		2
	ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ	1~2	後前			2		○		2	
特別看護研究	2	前後	8						8		
実習Ⅰ	1	後			4		○			4	
実習Ⅱ	2	前			3		○			3	
実習Ⅲ	2	前			3		○			3	
課題研究	2	前後			2				2		

Ⅲ. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2014年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護栄養学部	看護学科		348	94 (2)	98 (3)	96 (7)	100 (4)	388 (16)	111.5%
	栄養学科		350	88 (2)	87 (0)	99 (0)	93 (2)	367 (4)	104.9%
		(うち編入生)	10	—	—	3 (0)	6 (0)	9 (0)	90.0%
	小 計			698	182 (4)	185 (3)	195 (7)	193 (6)	755 (20)
助産学院 助産研究科	助産専攻	助産基礎分野	60	23 —	23 —	— —	— —	46 —	76.7%
		助産教育分野	20	4 —	4 —	— —	— —	8 —	40.0%
	小 計			80	27 —	27 —	— —	— —	54 —
看護大学院 看護学研究科	看護学専攻	ホスピス・緩和ケア看護学コース	16	0 (0)	3 (0)	— —	— —	3 (0)	62.5%
		公衆衛生看護学コース		2 (1)	4 (0)	— —	— —	6 (1)	
		成人看護学コース		1 (0)	— —	— —	— —	1 (0)	
		精神看護学コース		0 (0)	0 (0)	— —	— —	0 (0)	
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	2 (0)	5 (0)	— —	— —	7 (0)	116.7%
		博士後期課程	6	1 (0)	1 (0)	0 (0)	— —	2 (0)	33.3%
小 計			28	6 (1)	13 (0)	0 (0)	— —	19 (1)	67.9%
合 計			806	215 (5)	225 (3)	195 (7)	193 (6)	828 (20)	102.7%

社会人学生数

(2014年5月1日現在)

所属	学 科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科	5 (1)	8 (0)	5 (0)	5 (0)	23 (1)
	栄養学科	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	小 計		5 (1)	8 (0)	6 (0)	5 (0)

奨学金の種類と採用数

対象	奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
			月 額			
全学生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	37人
	日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	30,000円 または、自宅通学 54,000円 自宅外通学 64,000円	無利子貸与	139人
		第二種 (月額選択)	月 額	30,000円、50,000円 80,000円、100,000円 120,000円	有利子貸与 利率変動3%以内	239人
2 年 次 生 以 上	天使大学シスター川原ユキエ 記念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	10人
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人
	天使大学同窓会奨学金		年 額	300,000円	無利子貸与	1人
1~3年 次生	成績優秀者学業奨励金		年 額	50,000円	給付	6人
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上勤務の場合返還免除	25人
全 学 生	その他の奨学金					5人
合 計						482人

IV. 国家試験合格率

国家試験合格率

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
天使大学大学院 助産研究科	助産師国家試験	20 人	20 人	100.00%	99.90%
看護栄養学部 看護学科	看護師国家試験	96 人	95 人	99.00%	95.50%
看護栄養学部 看護学科	保健師国家試験	95 人	95 人	100.00%	99.60%
看護栄養学部 栄養学科	管理栄養士国家試験	90 人	84 人	93.30%	95.40%

V. 就職・進学状況

学科別就職希望者（2015年3月13日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	81	96.4%	3	3.6%	84	87.5%	83	97.6%	2	2.4%	85	94.4%
	希望無しの者	12	100.0%	0	0.0%	12	12.5%	5	100.0%	0	0.0%	5	5.6%
計(卒業生数)		93	96.9%	3	3.1%	96	100.0%	88	97.8%	2	2.2%	90	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
決定数/決定率		81	96.4%	3	3.6%	84	100.0%	77	92.8%	1	50.0%	78	91.8%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科 n=84						栄養学科 n=78					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
地域別	道外	26	32.1%	1	33.3%	27	32.1%	12	15.6%	1	100.0%	13	16.7%
	道内	55	67.9%	2	66.7%	57	67.9%	65	84.4%	0	0.0%	65	83.3%
	市内(再掲)	(47)	(58.0%)	(2)	(66.7%)	(49)	(58.3%)	(48)	(62.3%)	(0)	(0.0%)	(48)	(61.5%)
職種別	看護師	76	93.8%	3	100.0%	79	94.0%						
	保健師	5	6.20%	0	0.0%	5	6.0%						
	管理栄養士							20	26.0%	0	0.0%	20	25.6%
	栄養士							27	35.1%	0	0.0%	27	34.6%
	栄養教諭							2	2.7%	0	0.0%	2	2.6%
	食品衛生監視員							1	1.3%	1	100.0%	2	2.6%
	一般企業							25	33.3%	0	0.0%	25	32.9%
	上記以外							2	2.7%	0	0.0%	2	2.6%

〔進学状況〕

学科		看護学科				栄養学科							
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合
進学希望者数		11		0		1		3		0		3	
進学合格者数		11		0		11	1100%	3		0		3	100%

2014年度求人件数・人数（2015年3月13日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
看護師	40	78	176	0	254	671	1,500	9,819	0	9,819
保健師	6	33	26	0	59	24	210	84	0	294
助産師	8	30	151	0	181	29	102	820	0	922
計	54	141	353	0	494	724	1,812	10,723	0	11,035

〔栄養士職〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
栄養士	19	40	8	0	48	30	253	82	0	335
管理栄養士	33	97	18	0	148	42	150	106	0	256
栄養教諭	1	1	0	0	1	3	3	0	0	3
計	53	138	26	0	197	75	406	188	0	594

〔一般職・その他〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
一般	33	76	89	0	198	636	1,484	5,613	0	7,733

合計	86	214	115	0	395	711	1,890	5,801	0	8,327
----	----	-----	-----	---	-----	-----	-------	-------	---	-------

注1 (市内)は道内の内数

注2 道内+道外+全国=合計

注3 全国は勤務先が道内・道外に限定されない場合

注4 若干名は3とカウントする

注5 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

VI. 2015年度入試結果

2015年度天使大学・大学院入学試験結果

看護栄養学部

* () は、昨年度の数字です

◆看護学科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
指定校推薦	40	7	(6)	7	(6)	7	(6)	7	(6)	1.0
公募制推薦		52	(63)	52	(63)	35	(34)	35	(34)	1.5
社会人	37	9	(14)	9	(14)	1	(4)	1	(3)	9.0
一般		281	(318)	277	(301)	72	(67)	39	(33)	3.8
センター利用	10	154	(179)	154	(179)	28	(35)	11	(17)	5.5
総計	87	503	(580)	499	(563)	143	(146)	93	(93)	3.5

◆栄養学科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
指定校推薦	42	4	(4)	4	(4)	4	(4)	4	(4)	1.0
公募制推薦		60	(56)	60	(56)	38	(39)	38	(38)	1.6
社会人	33	2	(2)	2	(2)	2	(1)	2	(1)	1.0
一般		123	(108)	121	(107)	42	(36)	30	(29)	2.9
センター利用	10	110	(78)	110	(78)	18	(18)	11	(15)	6.1
総計	85	299	(248)	297	(247)	104	(98)	85	(87)	2.9

◆栄養学科 (3年次編入)

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
	5	11	(4)	11	(4)	5	(3)	4	(3)	2.2

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
前期	8	2	(3)	1	(3)	1	(2)	1	(2)	1.0
後期		1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0
総計	8	3	(4)	2	(4)	2	(3)	2	(3)	1.0

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
前期	3	1	(3)	1	(3)	1	(3)	1	(2)	1.0
後期		2	(0)	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.0
総計	3	3	(3)	3	(3)	3	(3)	3	(2)	1.0

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
前期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
後期		2	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	2.0
総計	2	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	2.0

大学院 助産研究科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)	
基礎分野	推薦	10	11	(10)	11	(10)	11	(10)	11	(10)	1.0
	前期一般	15	4	(11)	4	(10)	3	(7)	2	(7)	1.3
	前期社会人		4	(8)	4	(8)	3	(5)	3	(5)	1.3
	後期一般	5	4	(4)	4	(3)	2	(1)	2	(1)	2.0
	後期社会人		3	(0)	3	(0)	3	(0)	3	(0)	1.0
分教 野育	前期	10	1	(2)	1	(2)	1	(2)	1	(2)	1.0
	後期		0	(3)	0	(3)	0	(2)	0	(2)	—
総計	40	27	(38)	27	(36)	23	(27)	22	(27)	1.2	

VII. 教員組織

教員組織一覽

(2014年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	8人	1人	0人	2人	1人	12人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	28人
看護栄養学部	看護学科	8人	4人	7人	5人	5人	29人
	栄養学科	9人	5人	5人	3人	4人	26人
	教養教育科	2人	4人	1人	0人	0人	7人
	計	19人	13人	13人	8人	9人	62人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	90人
合計		27人	14人	13人	10人	10人	192人

専任教員年齢構成

(2014年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
助産研究科	教授	2	0	2	3	1	0	0	0	0	0	8
		25.0%	0.0%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	助教	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
計	2	0	2	3	3	0	1	0	0	0	0	11
	18.2%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
助手	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
小計	2	0	2	3	3	0	1	1	0	0	0	12
	16.7%	0.0%	16.7%	25.0%	25.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	0	6	6	4	2	1	0	0	0	0	19
		0.0%	31.6%	31.6%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	1	2	2	7	1	0	0	0	13
		0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	1	2	5	3	2	0	0	13
		0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	38.5%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	0	3	3	2	0	8
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	100%	
計	0	6	7	7	6	13	7	5	2	0	53	
	0.0%	11.3%	13.2%	13.2%	11.3%	24.5%	13.2%	9.4%	3.8%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	2	1	2	4	9	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	44.4%	100%	
小計	0	6	7	7	6	13	9	6	4	4	62	
	0.0%	9.7%	11.3%	11.3%	9.7%	21.0%	14.5%	9.7%	6.5%	6.5%	100%	
合計	2	6	9	10	9	13	10	7	4	4	74	
	2.7%	8.1%	12.2%	13.5%	12.2%	17.6%	13.5%	9.5%	5.4%	5.4%	100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2014年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	准教授から教授	助教から講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	1人	2人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人	1人
看護学科	0人	0人	1人	1人	2人	0人	0人	2人	2人	2人	3人	0人
栄養学科	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	1人	0人	0人
教養教育科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	1人	2人	2人	1人	3人	0人	1人	6人	2人	3人	5人	1人

VIII. 事務組織

(2014年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託職員	臨時職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	事務局長	1	1	0	0	0	0	1
	参与	0	0	1	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	0	0	0	2
大学業務系	総務課	3	1	0	4	0	0	7
	学務課	6	2	3	5	0	0	14
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
	財務室	3	1	3	4	0	0	10
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	19	6	10	13	0	0	42
合計		20	7	11	13	0	0	44

IX. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

	代表者名	研究課題名	種別
1	看護学科・准教授 針金佳代子	3歳児と母親が健康な食生活を形成していくための家族支援プログラムの開発	基盤C 継続採択
2	看護学科・教授 荃津 智子	小中学校教員の子どものグリーフに関する認識とグリーフケア	基盤C 継続採択
3	栄養学科・教授 佐藤 香苗	地域で暮らす認知症高齢者のための新規栄養ケアモデルの構築と応用可能性	基盤C 新規採択
4	看護学科・教授 吉田 礼維子	介護予防システムを推進する保健師の活動強化プログラムの検討	基盤C 新規採択

特別研究費の助成状況

	氏名	研究課題名
1	栄養学科・助教 松下 真美	香辛料などの食品成分によるヒト褐色脂肪組織の活性化と肥満予防
2	栄養学科・助教 長谷川めぐみ	Listeria monocytogenesのバイオフィルム形成能力および消毒薬に対する耐性
3	栄養学科・教授 賀来 亨	摂食回復支援食と通常食の組織学的検討
4	看護学科・准教授 草薙 美穂	若年の母親への育児支援－虐待予防のためのFeeding Education－
5	栄養学科・教授 大久保岩男	本学大学院で養成する高度専門職業人に共通するコンピテンシーの明確化～両専攻共通科目の提言に向けて～
6	看護学科・教授 新谷 恵子	学生に自らの知識を組み合わせそれを応用する練習をさせる教育技法の開発－(TBL:team-based learning)を活用した教育方法の検討－
7	栄養学科・教授 荒川 義人	北海道産マタタビおよびサルナシの果実に含まれるシステインプロテアーゼの構造および機能解析に関する研究
8	栄養学科・准教授 鈴木 純子	生活習慣病患者の概日リズム改善が安静時代謝量に及ぼす影響
9	看護学科・教授 荒井 春生	精神科病院における保護室の環境条件に関する検討
10	看護学科・准教授 大野 和美	神経難病患者の在宅療養への円滑な移行を可能とする熟練看護師の実践
11	栄養学科・講師 岡部 哲子	病院栄養士の給食経営管理業務にかかわる就業実態－管理栄養士養成施設の卒業生を対象とする実態調査－
12	栄養学科・教授 武蔵 学	スポーツ貧血の研究－マラソン後のIL-6とヘプシジンの増加
13	教養教育科・准教授 川口 雄一	統計処理統合システム利用環境の構築と利用手順の確立

受託研究等

	代表者名	研究課題名	種別
1	栄養学科・助手 松下 真美	ヒト褐色脂肪に対するカプシエイト類の効果に関する研究	奨学寄付
2	栄養学科・教授 大久保岩男	天使健康栄養クリニックにおける指導ツール開発に係る研究	共同研究
3	栄養学科・教授 大久保岩男	日本食によるストレス・脳機能改善効果の解明	共同研究
4	栄養学科・教授 大久保岩男	世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証	共同研究
5	栄養学科・助手 松下 真美	エネルギー代謝における個人内変動の要因として褐色脂肪の寄与の研究	共同研究
6	栄養学科・教授 佐藤 香苗	スポーツをしている児童生徒の栄養・生活教育の効果に関する研究	受託研究
7	栄養学科・助手 松下 真美	褐色脂肪組織活性と消化管ホルモンとの関連性評価検討	受託研究

FD・SDの実施状況

分類	日時	テーマ	内容
FD （大学全体） 研修会	2015年3月4日（水）	統合カリキュラム編成の実際	講師：札幌市立大学看護学部 教授 定廣 和香子氏
FD （看護栄養学 研究会） 研修会	2014年12月16日（火）	基礎（医学）実験計画法の知識と研究事例	講師：北海道大学大学院 農学研究院生命科学院 教授 有賀 早苗氏
	2015年2月18日（水）	質的研究方法論～現象学的アプローチ	講師：京都ノートルダム女子大学大学院 人間文化研究科 教授 村田 久行氏
SD 研修会	2014年8月28日（木）	①中教審答申と教育の質的転換について ②2013年度事業報告について ③2013年度監事監査報告について ④業務分析について	①講師：鈴木 敏郎 学務課長補佐 ②講師：佐保 末男 事務局長 豊島 利昭 財務室長 ③講師：土産田 照夫 監事 ④講師：小川 泰 常務理事

公開講座の実施状況

日時	テーマ	内容
2012年8月21日（木） ） 2012年9月18日（木）	いのちみつめて	北海道薬科大学との連携事業。参加登録者は定員80名に対して118名、受講者の延べ人数は378名でした。

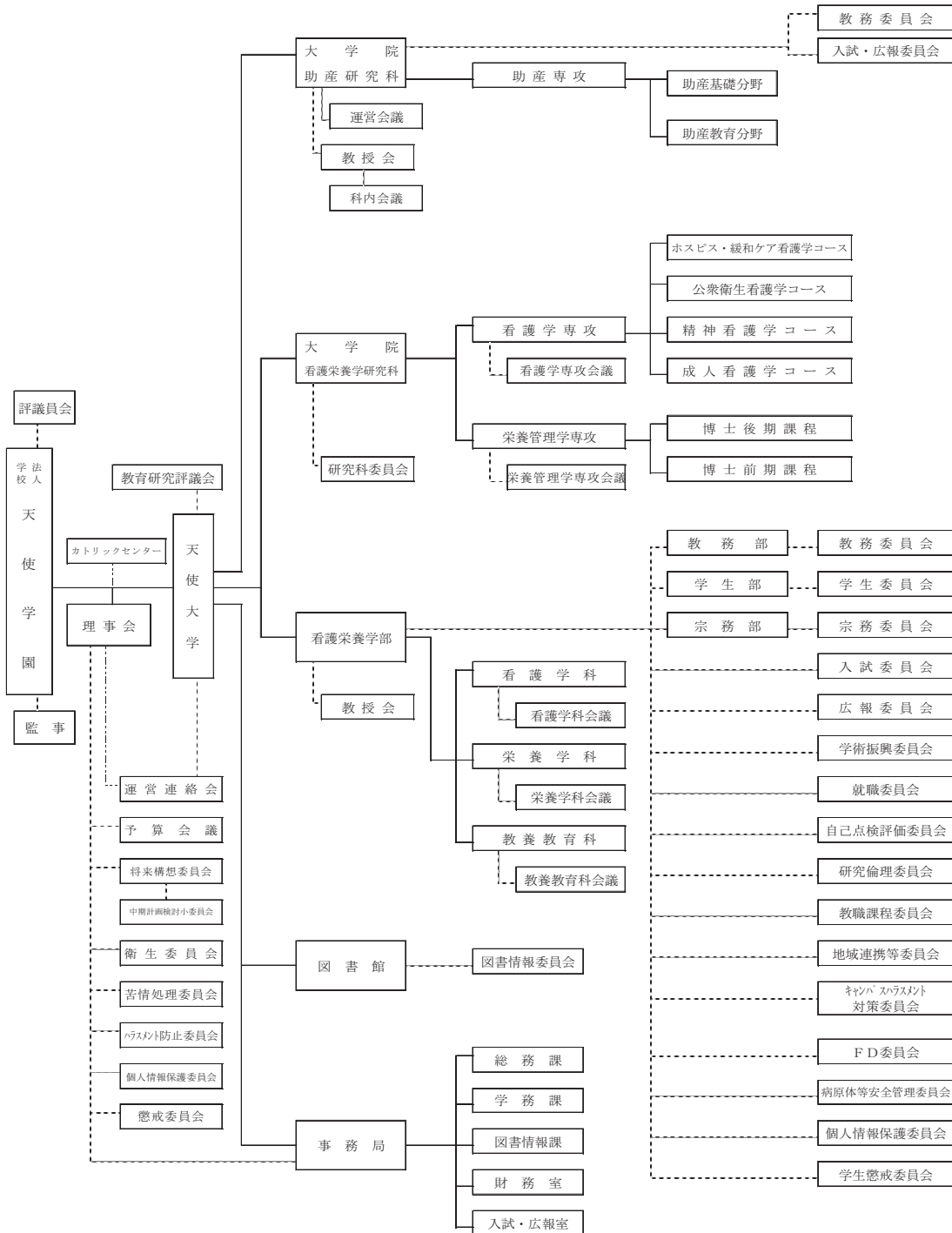
その他の活動

分類	活動内容
東日本大震災復興支援プロジェクト	① ボランティア活動支援 延べ10名の学生が長期休暇を利用して宮古市で傾聴ボランティアに携わりました。 ② 報告会の開催 2014年7月15日（火）と2015年1月13日（火）に、被災地にてボランティア活動に従事した学生の報告会を開催しました。 ③ 天使祭への出店 天使祭の一般公開日である2014年6月14日（土）に本プロジェクトのブースを設けて被災地の産物を販売し、東北の郷土料理である「せんべい汁」の販売も行いました。また、本プロジェクトの活動内容をまとめたリーフレットを作成し、会場のテーブルに設置しました。
札幌市東区保健福祉部・東区健康づくり連絡協議会との連携	「広報さっぽろ東区版及びホームページでのレシピの紹介」、「食育推進ネットワーク事業への参加」、「天使祭での健康相談・地域の健康づくり活動の紹介」、「たまねぎフェスタの運営協力」、「天使の昼食会」、「東区健康づくりフェスティバルの運営協力」など9事業に参加しました。
天使大学、札幌大谷大学、北海道体育大学校、札幌保健医療大学および札幌市東区による地域連携協定の締結	札幌市東区に設置する3大学と1専門学校および札幌市東区による地域連携協定に基づき、「健康」をテーマに地域住民向けの公開講座を次のとおり行いました。
コープさっぽろとの連携	産学連携プロジェクトとして、料理レシピの共同開発、食品表示検定試験の協力など、栄養学科の多数の学生および教員が協力を行っている。
天使大学後援会の教育講演会	2014年11月30日（土）に参加者94名を集め、本学6101講義室にて行いました。札幌医科大学医学部細胞生理学講座教授の當瀬規嗣氏が「低炭水化物ダイエットのウソホント」をテーマに行いました。

X. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図 (2014年4月1日)

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



XI. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2014年4月8日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度学園・大学事業計画及び当初予算について 2014年度非常勤講師の委嘱取消について 2014年度既修得単位の授与について 看護学科教員の採用に係る募集大綱について 2014年度学術振興委員会委員の交代について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度合唱コンクール実施について 2014年度学校医・精神神経科医について 2013年度卒業生の就職状況について ゼミ室について コピー機の使用について イースターミサの実施について 第1回教育研究評議会について
2	2014年5月13日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度看護栄養学部、栄養学科編入学試験、指定校推薦入学試験学生募集要項について 2014年度既修得単位の授与について 2014年度研究の受け入れの許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験の出題科目・出題範囲の公表について 2015年度看護栄養学部入学試験日程について 英語プレイズメント・テストおよび、化学・生物診断テストの実施結果について 2014年度クラブ活動団体等について 2014年度天使祭について 各委員会報告について 天使学園病原体等安全管理委員会の設置について 学長抱負
3	2014年6月10日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護学科教員の採用に係る募集大綱について 2014年度非常勤講師の委嘱・変更について 卒業証明書(和文・英文)の文面変更及び学位名称の英語表記の変更について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度学校法人天使学園・天使大学事業報告および会計収決算について 2013年度学校法人天使学園監事監査報告について 専任教員の新規担当科目について 定期試験に関する事故予防対策について 学業成績優秀者奨励金及び兄弟姉妹同時在学時授業料等免除の該当者について 将来構想について 委員会報告について
4	2014年7月8日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 休学願いの許可について 2014年度非常勤講師の委嘱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度教授会構成員の変更について カリキュラム検討委員会構成員について 大学院看護栄養学研究科課程増設等検討委員会構成員について 授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出に関する要領及び手順について 「第30回カトリック医療関連学生セミナーin京都」の学生参加について 学校法人運営調査委員会による実地調査について 学内電話設備更新工事について 大学ポートレートの参加について 平成26年度私立大学等改革総合支援事業に係る調査について 各委員会報告について 教授会規程第6条に基づき学長が指名した教授について 後援会「成績優秀者学業奨励金」について
5	2014年8月5日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 休学願いの許可について 2014年度非常勤講師の委嘱・取消について 「学則」の一部改正について 「履修規程」の一部改正について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 2015年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験の出題科目・出題範囲の追加記載について 2015年度一般入学試験旧教育課程履修者への経過措置にともなう出題形式等の公表について 夏期休暇中の学内工事について 各委員会報告について 人事方針について 学生懲戒委員会の設置について 大学ポートレートの参加について

回	開催年月日	審議・報告事項
6	2014年9月9日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度前期卒業判定について 2. 休学願の許可について 3. 復学願の許可について 4. 2014年度既修得単位の認定・授与について 5. 2014年度非常勤講師の委嘱・取消について 6. 専任教員の採用に係る募集大綱について 7. 学生の懲戒処分について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度前期卒業証書・学位記授与式実施要領について 2. 2014年度キャンパス・ハラスメントに関する講演会の開催について 3. 今後の宗務行事予定について 4. 各委員会報告について 5. 改正非常勤講師・専任教員の委嘱に関する申し合わせ事項について 6. 自衛消防訓練の日程について 7. 学校教育法及び国立大学法人等の改正に関する実務説明会の報告について 8. 大学ポータルについて 9. 教育研究評議会の審議等について
7	2014年10月7日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度非常勤講師の委嘱・取消について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度フードアンドライフ ステップアップセレモニー実施要領について 2. 2015年度健康調査の実施について 3. 2014年度前期定期試験に関するアクシデント等について 4. 看護学科専門教育科目の一部土曜開講について 5. 各委員会報告について 6. 教員の昇任手続きの開始について 7. 「天使大学競争的資金等の取扱いに関する規程の一部改正」及び「天使大学競争的資金等の不正に係る調査の手続き等に関する規程の一部改正」について 8. 教育研究費について
8	2014年11月11日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度非常勤講師の委嘱について 2. 休学願の許可について 3. 復学願の許可について 4. 2015年度学事暦について 5. 2016年度看護栄養学部入学試験日程について 6. 2016年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験の出題科目名の提示について 7. 2016年度大学入試センター利用入学試験における「理科」の採点集計方法について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専任教員の新規担当科目について 2. 2014年度体育祭の実施について 3. 2014年度教職員修養会について 4. クリスマス関連の行事予定について 5. 2014年度キャンパスハラスメントに関する講演会について 6. 2014年度海外研修旅行について 7. 2014年度戴帽式実施要領について 8. 委員会報告について

回	開催年月日	審議・報告事項
9	2014年11月19日(水)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度指定校推薦入学試験、公募制推薦入学試験、社会人入学試験、並びに栄養学科編入学試験の可否判定について 看護学科教員の採用に係る募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 規程等検討委員会に対しての要望について
10	2014年12月9日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 天使大学学則の一部改正(案)について 天使大学教授会規程の一部改正(案)について 2014年度非常勤講師の委嘱について 2015年度非常勤講師の委嘱について 2015年度非常勤講師の委嘱変更について 2015年度開講科目における学期変更について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 天使大学学生生活についての調査の実施について 懲戒処分対象学生の奉仕活動等終了の報告 委員会報告について 学内研究費の研究実績報告書の提出方法について
11	2015年1月14日(水)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度非常勤講師の委嘱について 2015年度以降入学生の教養教育科目の英語名称について 天使大学学則の一部改正(案)について 天使大学教授会規程の一部改正(案)について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 2014年度年報の作成および活動報告会の開催について 委員会報告について 2014年度学校法人天使学園補正予算について
12	2015年2月10日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 復学願の許可について 2015年度開講科目における学期変更等について 2015年度非常勤講師の委嘱・取消について 2015年度一般入学試験(看護学科)の可否判定について 看護学科教員の採用に係る募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度卒業証書・学位記授与式実施要領(案)について 2014年度学事暦の一部変更について 2015年度学事暦の一部変更について 専任教員の新規担当科目について 英文証明書の表記の一部変更について 今後の行事予定について 2014年度FD研修会の開催について 「天使大学における倫理審査のためのチェックリスト」について 2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について 健康調査票の取扱について 委員会報告について 授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出について 教員採用・昇任の内定について ヘルスケア実践開発プロジェクトについて
13	2015年2月17日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度一般入学試験(看護学科)の可否判定について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度後期研究報告会について
14	2015年2月24日(火)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度一般入学試験(看護学科)の可否判定について 2015年度非常勤講師の委嘱・取消について 履修規程の一部改正について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度学事暦の一部変更について
15	2015年3月2日(月)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度卒業判定について 2014年度教職課程修了判定について 休学願の許可について 退学願の許可について 授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度海外研修旅行の実施について 嘱託教員の退職と教員の昇任について

回	開催年月日	審議・報告事項
16	2015年3月19日(木)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度進級判定について 2. 退学願の許可について 3. 2015年度既習得単位の認定・授与について 4. 2015年度非常勤講師の委託・変更について 5. 2016年度学事歴について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度専任教員の新規担当科目について 2. 2014年度定期試験に関するアクシデント等について 3. 2015年度入学式実施要領(案)について 4. 2015年度会議日程(予定)(案)について 5. 天使大学オリジナル焼き菓子「天使のクッキー」について 6. 出会いと親睦のゼミについて 7. 天使大学学則及び天使大学教授会規程の一部改正について 8. 委員会報告について
臨時1	2014年4月1日(月)	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度校務分掌・委員会構成について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度教授会構成員について 2. 2014年度学園・大学事業計画及び当初予算について 3. 2014年度イースターのミサ及び御ミサの予定について 4. 2014年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験に係る追加合格について

看護栄養学研究科研究科委員会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2014年4月8日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度開講科目及び担当教員について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度看護学専攻2年次生の研究計画発表会の実施について 2013年度事業報告及び活動のまとめについて 2014年度研究科委員会構成員について
2	2014年5月13日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度看護栄養学研究科学生募集要項について 2014年度看護学専攻2年次 学位論文研究計画書の審査について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護栄養学研究科栄養管理学専攻の研究指導教員について 2014年度非常勤講師の委嘱取消について 2014年度研究科委員会構成員について カリキュラムワーキングの設置並びにメンバーについて
3	2014年6月10日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 休学願の許可について 2014年度特別講師の委嘱について 2014年度栄養管理学専攻博士前期課程並びに後期課程学位論文研究計画書の審査について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度栄養管理学専攻博士前期課程並びに後期課程学位論文中間発表会の実施について カリキュラムワーキングのメンバーについて 看護学専攻の授業を公開授業とすることについて 看護栄養学研究科課程増設等検討委員会規程について
4	2014年7月8日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業証明書（和文・英文）の文面変更及び学位名称の英語表記の変更について
5	2014年8月5日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 休学願の許可について 復学願の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 栄養管理学専攻の授業を公開授業とすることについて B DH Q 食事調査解析ソフトの業務委託について
6	2014年9月9日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 長期履修学生の休学による長期履修期間の変更について
7	2014年9月24日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度看護学専攻修士課程前期試験の可否判定について 2015年度栄養管理学専攻博士前期課程前期試験の可否判定について
8	2014年10月7日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2016年度看護栄養学研究科入学試験日程について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度の長期履修学生の入学手続きについて 改正 非常勤講師・専任教員の委嘱に関する申し合わせ事項について 2015年度健康調査の実施について B DH Q ソフトの使用について
9	2014年11月11日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度非常勤講師の委嘱について 研究科名、課程名、専攻、コース名等の英語表記について
10	2014年12月9日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度学事暦（案）について 2015年度非常勤講師の委嘱について 2014年度後期学位論文関連スケジュールについて 2014年度学事暦の変更について 休学願の許可について 2014年度非常勤講師の委嘱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 天使大学学生生活についての調査の実施について
11	2015年1月14日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 長期履修学生規程の改正について 2015年度学事暦（案）について 2015年度非常勤講師の委嘱について 2014年度論文提出による学位申請者の資格審査について 2014年度論文提出による学位申請者の主査・副査について 2015年度活動目標について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 専任教員の新規担当科目について 2015年度履修要項・授業概要作成について（案） 入試の評価方法について

回	開催年月日	審議・報告事項
12	2015年1月28日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2015年度看護学専攻修士課程後期試験の合否判定について 2015年度栄養管理学専攻博士前期課程、博士後期課程後期試験の合否判定について 2014年度看護学専攻 修士論文・課題研究論文の主査及び副査について 2014年度栄養管理学専攻 修士論文の主査及び副査について 保健師教育課程申請に伴う看護栄養学研究科看護学専攻教育課程の変更について 2015年度非常勤講師の委嘱について 栄養管理学専攻博士後期課程における「英語」試験での不正について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 長期履修学生規程の一部改正について
13	2015年2月10日（火）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 休学願の許可について 復学願の許可について 2015年度長期履修学生申請の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 英文証明書表記の一部変更について 2015年度学事暦（案）一部変更について 健康調査票の取扱について
14	2015年3月2日（月）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2014年度修了判定について 復学願の許可について 退学願の許可について 長期履修学生申請の許可について 長期履修学生履修期間変更の許可について 履修規程の一部改正について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 学位論文審査終了報告書について 専任教員の新規担当科目について
15	2015年3月19日（木）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について 天使大学大学院研究科委員会規程の一部改正について 保健師養成課程の変更承認申請について 看護学専攻の入学定員・収容定員の変更に係る学則変更について 2016年度看護栄養学研究科の教育課程の変更に係る学則変更について 看護栄養学研究科学則の別表5の変更について[2015年度] <p>[報告事項]</p> <p>なし</p>

助産研究科教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2014年4月9日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度校務分掌・委員会構成について 2. 2014年度非常勤講師の委嘱について 3. 休学願の許可について 4. 専任教員の採用に係る募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度助産研究科教授会の構成員及び教授会の成立要件の変更について 2. 2014年度学園・大学事業計画及び当初予算について 3. 2014年度合唱コンクール実施について 4. 2014年度イースターのミサ及び御ミサの予定について 5. 2014年度学校医・精神神経科医について 6. コピー機の使用について
2	2014年5月12日（月）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度助産研究科学生募集要項について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度大学院助産研究科入学試験日程について 2. 2014年度助産研究科教授会の構成員について
3	2014年6月11日（水）	<p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2013年度学校法人天使学園・天使大学事業報告および会計収支決算について 2. 2013年度学校法人天使学園監事監査報告について 3. 将来構想について
4	2014年7月11日（金）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専任教員の採用に係る募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学ポートレートの参加について 2. 平成26年度私立大学等改革総合支援事業に係る調査について 3. 学校法人運営調査委員による実地調査について 4. 学内電話設備工事について 5. 自衛消防訓練の実施について
5	2014年8月27日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 退学願の許可について 2. 2015年度助産研究科年次教育計画(案)について 3. 専任教員の採用に係る募集大綱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度専任教員の新規担当科目について 2. 人事方針について 3. 学生玄関及び正門前歩道の工事について
6	2014年9月10日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 休学願の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2014年度キャンパス・ハラスメントに関する講演会の開催について 2. 今後の宗務行事予定について 3. 大学ポートレートについて 4. 私立大学等改革総合支援事業について
7	2014年9月24日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度助産基礎分野推薦入学試験の合否判定について 2. 2014年度 助産教育分野の修了認定について 3. 退学願の許可について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育法及び国立大学法人法等の改正に関する実務説明会の報告 2. 自衛消防訓練の日程について 3. 国際助産学実習について 4. 改正非常勤講師・専任教員の委嘱に関する申し合わせ事項について 5. 映画上映と講演会の開催について
8	2014年10月8日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度天使大学院助産研究科入学試験日程について 2. 2014年度 助産教育分野における入学後の単位付与について 3. 卒業証明書（和文・英文）の文面変更及び学位名称の英語表記の変更について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度健康調査の実施について 2. 看護栄養学部看護学科学学生の懲戒処分について 3. 映画上映と講演会の開催について
9	2014年10月22日（水）	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015年度 助産基礎分野一般入学試験及び社会人入学試験並びに助産教育分野入学試験前期試験の合否判定について 2. 2014年度 非常勤講師の委嘱について <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 映画上映と講演会の開催について

回	開催年月日	審議・報告事項
10	2014年11月19日（水）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 2015年度 学時暦（案）について</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 2014年 教職員修養会について</p> <p>2. キャンパスハラスメントに関する講演会のアンケート結果について</p> <p>3. 全国助産師教育協議会ファーストステージ研修生について</p>
11	2014年12月10日（水）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 学則の一部改正について</p> <p>2. 2015年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>3. 助産研究科専任教員の採用に係る募集大綱について</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 学内研究費の研究実績報告書の提出方法について</p> <p>2. 教員の昇任手続きの開始について</p> <p>3. 助産研究科嘱託教員の採用手続きについて</p>
12	2015年1月28日（水）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 2015年度助産基礎分野一般入学試験及び社会人入学試験後期試験の合否判定について</p> <p>2. 2015年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>3. 学則の一部改正及び新規科目の英語名称の表記について</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 2014年度年報の作成および活動報告会の開催について</p> <p>2. 全国助産師教育協議会北海道東北ブロック研修会について</p> <p>3. オレンジリボンキャンペーンについて</p> <p>4. 理事会報告</p>
13	2015年2月18日（水）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 天使大学大学院 研究生期間延長願について</p> <p>2. 復学願・退学願の許可について</p> <p>3. 2015年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>4. 助産研究科学則の一部改正（案）について</p> <p>5. 助産研究科教授会規程の一部改正（案）について</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 2014年度卒業証書・学位記授与式実施要領（案）について</p> <p>2. 2014年度FD研修会の開催について</p> <p>3. 「天使大学における倫理審査のためのチェックリスト」について</p> <p>4. 英文証明書の表記の一部変更について</p> <p>5. 今後の行事予定について</p> <p>6. 健康調査票の取扱について</p> <p>7. 2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について</p>
14	2015年3月4日（水）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 2014年度助産基礎分野の修了判定について</p> <p>2. 2015年度非常勤講師委託内容の変更について</p> <p>3. 2015年度助産研究科再入学試験の合否判定について</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 北海道と天使大学大学院とのタイアップ事業について</p>
15	2015年3月11日（水）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 大学院助産研究科学則の一部改正（案）について</p> <p>2. 履修規程の一部改正（案）について</p> <p>[報告事項]</p> <p>なし</p>
16	2015年3月18日（水）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 休学願の許可について</p> <p>2. 2015年度授業科目開講期の一部変更について</p> <p>3. 2015年度非常勤講師の委託について</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 2015年度開講科目における担当教員について</p> <p>2. 2015年度入学式実施要領（案）について</p> <p>3. 2015年度会議日程（予定）（案）について</p> <p>4. 天使大学大学院助産研究科科目学則の一部改正について</p>
17	2015年3月30日（月）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 退学願の許可について</p> <p>[報告事項]</p> <p>なし</p>
18	2014年8月8日（金）	<p>[審議事項]</p> <p>1. 学則の一部改正について</p> <p>2. 履修規程の一部改正について</p>

XII. 委員会構成一覽

2014年度 校務分掌 委員会構成一覽

教育研究評議会		学 長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長、助産研究科教務委員長				
区分	委員会名	委員長	委員	人数	委員任期	担当事務局
常設委員会	教務委員会	菅原	教務部長:菅原 看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教職課程委員長 看護:大野 栄養:西 教養:目時	8	2年	学務課
	学生委員会	久保	学生部長:久保 看護:澤田・那須 栄養:金澤・岩淵 教養:田島	6	2年	学務課
	宗務委員会	小原	宗務部長:小原 看護:佐藤・ケン・スレイマン 栄養:勝野・松下 教養:小原 教養:(小原) 助産:今崎 事務局:菊池・本田	9(8)	2年	学務課
	図書情報委員会	賀来	図書館長:賀来 看護:柴田・前田(朝) 栄養:清水・岡部 教養:堀井 助産:津田 事務局:平野	8	2年	図書情報課
	入試委員会	荒川	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長 看護:針金 栄養:荒川・西 教養:(川口) 事務局:白石	8(7)	2年	入試広報室
	広報委員会	鈴木(純)	看護:草薙・鶴木 栄養:鈴木・岡部・吉田(真) 教養:小原 事務局:白石	7	2年	入試広報室
	自己点検評価委員会	荃津	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長 看護:荃津 栄養:金澤 教養:(川口) 助産:(園生)	10(8)	2年	総務課
	FD委員会	田島	看護:荒井 栄養:高桑 教養:小原 助産:本宿	4	2年	総務課
	学術振興委員会	高島	看護:新谷 栄養:荒川・高島 教養:堀井 助産:今崎	5	2年	図書情報課
	地域連携等委員会	山口	看護:若山 栄養:山口・長谷川 教養:田島 助産:津田	5	2年	学務課
	就職委員会	清水	看護:佐藤 栄養:清水・百々瀬 教養:新井	4	2年	学務課
	教職課程委員会	伊藤	教職科目担当:伊藤・山部・百々瀬・岩淵・新井	5	2年	学務課
	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長、看護栄養学研究科長 看護:新谷 栄養:佐藤 教養:堀井 学長指名:吉田(礼)・賀来	8(7)	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント委員会	谷井	学生部長、看護:谷井 栄養:(久保) 教養:伊藤 助産:本宿 事務局長 職員:平野	7(6)	2年	総務課
病原体等安全管理委員会	高島	専門:高島・岩淵 感染予防:武蔵 学校医:大久保	4	2年	財務室	
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護: 栄養: 教養: 助産:	5	2年	学務課
	個人情報保護委員会	その都度	助産研究科長、看護栄養学研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教務部長、事務局長	7	2年	総務課
看護:学生支援教員	1年:	◎大野・新谷・吉田(礼)・澤田・前田(朝)・小澤	2年:	◎鶴木・柴田・菅原・那須・富川・新関・坂野		
	3年:	◎針金・佐藤・臺野・田中	4年:	◎若山・荒井・荃津・草薙		
栄養:学生支援教員	1年:	◎金澤・大久保・百々瀬・高桑・和田	2年:	◎勝野・高島・山口・吉田・松下・村尾		
	3年:	◎西・賀来・岡部・峯岸・長谷川・白幡	4年:	◎清水・鈴木(純)・荒川・久保・岩淵・古川		
学長直轄プロジェクト	震災復興支援プロジェクト	リーダー 目時	看護:小澤・田中 栄養:百々瀬・高桑 事務局:高山・西村・松田			
	ヘルスケア実践開発プロジェクト					
後援会講演ワーキング			看護:荒井・臺野 栄養:峯岸・松下 教養:田島 事務局:総務課			

大学院看護栄養学研究科の科長・専攻主任

研究科長:大久保 岩男	看護学専攻主任:吉田 礼維子	栄養管理学専攻主任:佐藤 香苗
-------------	----------------	-----------------

◎ 大学院助産研究科の科長・委員会等

研究科長:園生陽子			
区分	委員会等名	委員長等	委員
常設機関	運営会議	学長	研究科長、教授職
	研究科会議	研究科長	教授会構成員
区分	委員会等名	委員長等	委員
常設機関	教務委員会	園生	(講義基礎)津田 (講義教育)園生(実習)本宿 (学生・就職)今崎
	入試広報委員会	津田	園生、本宿、今崎

◎ 理事会設置の委員会

区分	委員会名	委員長	委員	人数	任期	担当事務局	
常設機関	運営連絡会	理事長	学長、副理事長(2名)、常務理事(総務担当理事)、財務担当理事、カトリックセンター長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、宗務部長、監事:土産田、学内評議員:菅原、荒川、園生、佐保	17(14)	1年	総務課	
	将来構想委員会	理事長	学長、総務担当理事、財務担当理事、宗務部長、図書館長、研究科長(2)、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、教職員で理事・評議員:菅原、荒川、園生	13			
	苦情処理委員会	委員 代理委員	互選 その都度互選	理事長指名:教員=前田・山部 職員:佐保 教授会選考: 職員会議選考:鈴木 理事長指名:教員= 職員: 教授会選考: 職員会議選考:渡邊			7 5
	懲戒委員会	理事長指名	理事長が任命する5名	5			
	ハラスメント防止委員会	互選	(理事)小川、曾我、山本、菅原(教員)前田(明)、堀井 (職員):白石	7			
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、常務理事、理事(理事会選出):菅原、事務局長	5			
	衛生委員会	学長	産業医:辻崎正幸(天使病院)、看護:若山 栄養:山部 教養:田島 事務局:豊島(保健師)加藤	7		財務室	
カトリックセンター	理事長任命	センター長:小原	カトリック司祭、常務理事、宗教教育担当者	4(3)	2年	学務課	

Ⅲ. 委員会の活動報告

2014年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原 邦子 委員：前田明子・山部秀子・川口雄一・伊藤進・大野和美・西 隆司・目時光紀</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>14回 臨時 10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会開催日程について ・休学願・復学願・退学願許可について ・既修得単位の認定・授与について（当該年度及び次年度） ・非常勤講師の委嘱・変更・取消について（当該年度及び次年度） ・専任教員の新規担当科目について（当該年度及び次年度） ・特別講師の委嘱、取消について（当該年度及び次年度） ・実習指導教員の委嘱、変更、取消について（当該年度及び次年度） ・授業アシスタントの委嘱について（当該年度及び次年度） ・開講科目の学期変更について（当該年度及び次年度） ・教務委員会活動計画・予算について（当該年度及び次年度） ・学生による授業評価アンケートについて（当該年度及び次年度以降） ・学事暦の変更について（当該年度及び次年度） ・既修得単位の認定・授与について ・看2学生再履修科目の授業展開・運用について ・看3過年度生のリハビリテーション看護学担当教員について ・専任教員の病欠に伴う補講と試験日程について ・2015年度教養教育カリキュラムの一部見直し、実施年度及び今後の進め方について ・2015年度以降入学生対象の教養教育科目の一部改正及び英語名称について ・学則の一部改正案について ・履修規程の一部改正案について ・研究生の受け入れの許可、研修修了について ・2013年度看護学科3年後期科目の成績評価の訂正について ・定期試験に関する事故予防対策について ・卒業証明書（和文・英文）への学位取得証明、英文学位名称変更。英文学位記授与について ・英文学位記の作成について ・英文証明書の記載方法の変更について ・2015年度講師会について ・2015年度授業評価アンケートについて ・追実習願の許可について ・看護学科3年次生の後期臨地実習履修判定について ・栄養学科3年次生の後期臨地実習履修判定について ・試験・評価日程について（前期及び後期） ・追・再試験監督担当学科について（前期及び後期） ・土曜日開講について（前期及び後期） ・教職課程科目の一部、看護学科専門科目に一部土曜開講について ・大学基準協会からの課題について ・履修要項への履修展開例及び教職課程の記載方法について ・卒業判定について（前期卒業及び年度卒業）及び判定に係る日程について ・教職課程修了判定について ・進級判定について ・栄養教育実習履修判定について ・2015年度学事暦について ・2016年度入学式等学事暦案について ・2014年度時間割案について ・次年度時間割編成のガイドライン・編成条件について ・出会いと親睦のゼミ・新入生オリエンテーションの評価・検討 ・履修ガイダンスについて 	

- ・2015年度出会いと親睦のゼミについて
- ・2015年度新入生オリエンテーションについて
- ・2015年度在学学生ガイダンスタイムスケジュールについて
- ・2015年度教務委員会活動計画について
- ・2015年度予算について
- ・時間割編成上の課題について
- ・2015年度アッセンブリーアワー利用について
- ・教務システムの充実について
- ・授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出の手順について
- ・授業科目の成績評価に対する学生からの意見申出について（看2）

[主な報告事項]

- ・2013年度年報 教務委員会報告
- ・2014年度、2015年度教務委員会活動計画・予算について
- ・委員長代理者について
- ・出会いと親睦のゼミアンケート結果について
- ・履修ガイダンスアンケート結果について
- ・1年次生対象の定期試験オリエンテーションについて
- ・履修者数・聴講者数・他学科履修希望者数・履修届遅延者数報告（前期及び後期）
- ・教職課程履修取消者数について
- ・非常勤講師の申し合わせ事項及び非常勤講師・特別講師委嘱手続き受付期間について
- ・定期試験・評価日程について（前期及び後期）
- ・既修得単位の認定について
- ・定期試験アクシデントについて（前期及び後期）及び定期試験の自己事例対応策について
- ・土曜開講日について（前期及び後期）
- ・定期試験時間割について（前期及び後期）
- ・2013年度看護学科3年後期科目の成績評価の訂正について
- ・再履修科目がある看護学科2年次生の後期授業予定について
- ・2015年度英語IA・IBの担当者の担当クラス変更及び英語科目のABクラス合同開講について
- ・2015年度入学者の入学前・入学直後の既修得単位認定作業スケジュールについて
- ・研究生について
- ・6302ゼミ室の改装について
- ・私大協教務部課長相当者研修会の参加及び報告
- ・大学基準協会からの課題について
- ・教養教育科目の変更に伴う変更承認申請の許可について
- ・保証人への成績通知書の送付について
- ・卒業判定の日程について
- ・2014年度授業評価アンケート集計レーダーチャート数値の表記について
- ・授業評価アンケート1年次生への説明について
- ・2015年度学事暦変更について
- ・2015年度履修相談について
- ・2015年度出講案内について
- ・2015年度以降委嘱できない非常勤講師について
- ・次年度時間割編成等に向けた作業行程について
- ・カリキュラム編成を時間割編成上の課題について
- ・2016年度教養教育科目カリキュラムの改訂について
- ・新入生の学籍番号付番とクラス分けについて
- ・2015年度新入生オリエンテーションについて

2014年度 学生委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：久保ちづる 委員：澤田優美、那須典政、金澤康子、岩渕絵里子、田島忠篤</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度役割分担について ・2014年度委員長不在時の委員長代理について ・2014年度海外研修旅行について ・2014年度学生委員会担当行事関係について ・自衛消防訓練実施について ・葦の会室のインターネット接続について ・指定寮「アンジェリーク・コア」の表記の見直しについて ・学生の健康調査票の導入について ・2015年度活動計画書案・予算案について ・2015年度アッセンブリー・アワープログラム案について ・2015年度学校医（内科医・精神科医）の委嘱について ・ぴあの会「新入生ウェルカム相談窓口」の実施について ・2014年度自己点検評価について ・その他 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度海外研修旅行について ・2014年度活動計画書及び予算見積内訳書について ・2014年度学生委員会・葦の会関係行事の進捗状況・実施報告について ・自衛消防訓練実施について ・ソーシャルメディアについて ・オフィスアワーについて ・遺失物・拾得物届、月別遺失物届報告について ・2014年度危機管理マニュアルについて ・2015年度学生生活ガイドブックの校正について ・2014年度ホームページ進捗状況について ・保健相談室関係進捗状況・月別報告等について ・学生相談室関係進捗状況・月別報告等について ・2013年度学生相談室・保健相談室活動報告書について ・第1・2回「健康管理運営委員会」開催について ・2014年度自己点検評価について ・2014年度天使大学学生生活についての調査の実施について ・その他 	

2014年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：小原琢 委員：ケン・スレイマン、佐藤昇子、勝野由美子、松下真美、今崎裕子 菊池史恵、本田英里、学務課（堀切）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回（2015年3月19日現在）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度イースターの集い ・毎週のミサ（前期） ・カトリック医療関連学生セミナー ・宗務委員長（宗務部長）の代行者 ・毎週のミサ（後期） ・2014年度の行事担当者 ・2014年度予算の執行 ・2014年度前期修了・卒業感謝のミサの役割分担 ・クリスマス関連の日程 ・クリスマスの集い ・死者のための追悼ミサ ・教職員修養会 ・2015年度宗務委員会予算 ・新年のミサ ・今後の宗教行事の日程 ・2014年度修了・卒業感謝のミサ <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度委員長 ・マリア像 ・日本カトリック学校としての自己点検評価基準 ・学校法人天使学園カトリックセンター規定・活動計画・予算 ・宗務委員会規定・活動計画・予算 ・カトリック医療関連学生セミナー ・2014年度教職員修養会 ・修了・卒業感謝のミサ ・チャペルアワー ・チャペルの戸棚及び消耗品の支出 ・議事録 ・毎週のミサ ・学生修養会 ・クリスマスの集い ・学校法人調査実地調査 ・2015年度学事歴 ・クリスマス献金 	

2014年度 図書館情報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：賀来 亨 委員：柴田 和恵、前田 朝子、清水 真理、岡部 哲子、 堀井 泰明、津田 万寿美、平野 敦子 計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後援会助成図書の選定について(9回) ・2014年度の活動計画について ・機関リポジトリの愛称及びロゴに関する応募状況と選考について ・本学リポジトリの愛称とロゴについて：Snowdrop に決定 ・2014年度後期開閉館予定表(案)について ・平成26年度 ICTによる教育改善研究発表会について ・雑誌の保存期間と製本について ・洋雑誌の継続購読見直しについて ・学生からの5円コピー機導入希望について ・2015年度図書館及び情報処理室活動計画案及び予算案について ・エルゼビア社サイエンスダイレクト洋雑誌の向後3か年契約の可否について ・2014年度期中監事監査報告について ・2015年度エルゼビア社廃刊分洋雑誌の差し替えについて ・洋雑誌一夜貸出の試行について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度蔵書点検結果報告 ・2013年度図書資料費執行状況(結果報告) ・2014年度図書資料費予算配分額について ・受贈図書の選定について ・2014年度図書資料費執行状況 ・天使祭期間の図書館一般開放等について ・i-Filter の導入について ・日本カトリック大学連盟図書館協議会総会及び実務研究会の共催について ・サーバUPS の一部取り替えについて ・絶縁検査に伴うサーバ停止について ・2014年度秋の文献検索ガイダンスの実施について ・サーバウィルスソフトバージョンアップ作業について ・過年度博士論文の本学リポジトリへの収録について 	

2014年度 入試委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：荒川 義人 委員：前田 明子、山部 秀子、川口 雄一、針金 佳代子、西 隆司、白石 澄枝 計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>15 回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度学生募集要項（学部・指定校推薦入学試験・栄養学科編入学試験）について ・2015年度入学試験出題者について ・新学習指導要領に対応した一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験について ・指定校推薦入学試験の廃止に関する内規について ・入試手当について ・大学入試センター試験の手当について ・2015年度 推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験について ・2015年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験について ・2016年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験の試験科目（英語）について ・2015年度大学入試センター試験について ・合否判定基準について ・入学手続要項（学部・栄養学科編入学試験）について ・東日本大震災に被災した受験者への対応について ・2016年度入学試験の日程について ・2015年度大学入試センター試験利用入学試験の採点集計方法について ・公募制推薦・社会人入学試験、栄養学科編入学試験の小論文試験問題について ・個人面接試験について ・小論文試験について ・本学 web サイトおよび合格発表収容サーバの仕様変更について ・2015年度一般入学試験学科試験 得点調整について ・2015年度一般入試、センター利用入試 追加合格者について ・2015年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験 合否判定について ・2015年度一般入学試験栄養学科合否判定について ・2015年度一般入学試験看護学科合否判定について ・2015年度大学入試センター試験利用入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について ・2015年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験の点検評価について ・2015年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、大学入試センター試験の点検評価について ・2014年度入学試験 「今後の課題・対応」の達成状況について ・2015年度入試委員会 活動計画について ・2015年度入試委員会予算について ・入学試験制度の見直しについて ・入試に関する「不測の事態」等の危機管理体制について ・追加合格決定のプロセスについて <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度入試問題の著作権処理について ・一般入学試験 英語のネイティブチェックについて ・「2015年度入学試験における感染症（インフルエンザ等）への対応」のwebを通した告知について ・天使大学入学試験問題作成委員（一般入学試験）と第三者点検者による合同入学試験問題検討会について 	

2014年度 広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：鈴木純子 委員：草薙美穂、鶴木恭子、岡部哲子、吉田真弓、小原琢、白石澄枝 計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度役割分担について ・2014年度学生募集（進学相談会、校内ガイダンス、高校訪問、出張講義等）について ・2015年度大学案内パンフレットについて ・2016年度大学案内パンフレットについて ・2016年度天使大学大学院看護栄養学研究科パンフレットについて ・2017～2020年度大学案内パンフレットのプレゼンテーションについて ・2014年度広報活動のための学内勉強会について ・2014年度広報活動のための学内勉強会の点検評価について ・2014年度オープンキャンパスについて（第1回・第2回・第3回） ・第3回オープンキャンパス参加促進はがきについて ・2014年度 第1回オープンキャンパスの点検評価について ・2014年度 第2回オープンキャンパスの点検評価について ・2014年度 第3回オープンキャンパスの点検評価について ・2015年度オープンキャンパスについて ・本学学生への大学院（看護栄養学研究科）説明会について ・本学学生への大学院（看護栄養学研究科）説明会の点検評価について ・天使大学オリジナル焼き菓子「天使のクッキー」について ・新入生アンケートについて ・学報「天使」について ・イメージ写真の撮影について ・広報委員会の定例化について ・クリスマスカードについて ・志願促進DMについて ・2014年度 広報委員会 各担当の評価報告について ・2015年度広報委員会 活動計画書について ・2015年度 広報委員会予算（学部）について ・2014年度 年報（広報委員会関係部分）について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度広報委員会活動計画書（学部・看護栄養学研究科）について ・オープンキャンパスちらし・ポスターの送付について ・広報活動のための資料集の改訂について ・新入生アンケートについて ・出張講義・進学相談会・校内ガイダンス・高校訪問等について ・2014年度 高校訪問等に向けた職員勉強会について ・看護栄養学研究科進学相談会参加促進DMについて ・2014年度 広報媒体別資料請求状況について ・本学 web サイトおよび合格発表収容サーバの仕様変更について 	

2014年度 自己点検評価委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：荃津智子 委員：園生陽子、大久保岩男、前田明子、山部秀子、川口雄一、金澤康子、 佐保末男</p> <p style="text-align: right;">計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度年報の作成について ・2014年度年報の作成について ・助産研究科2012年度・2013年度年報について ・2014年度活動方針・活動内容について ・大学評価(認証評価)結果における課題について ・日本助産評価機構の認証評価結果における課題について ・改善報告書の提出について ・本学における自己点検評価のあり方について ・内部質保証のあり方について ・2014年度活動報告会について ・2015年度活動計画および予算について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度予算について ・日本助産評価機構の評価結果について ・助産研究科2012年度・2013年度年報について ・2015年度活動計画および予算について ・研究業績に係る2015年度予算要望について 	

2014年度 FD委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：田島忠篤 委員：荒井春生、高桑暁子、小原琢、本宿美砂子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度の活動方針 ・学生による授業評価アンケート結果に基づく授業改善の体制づくり ・FD研修会について ・授業改善シートの今後の進め方について ・シラバス研修の効果に関する検証について ・2015年度活動計画案について ・2015年度予算案について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度の活動と2014年度の活動目標及び予算の確認 ・授業改善シート実施に対する回答について ・授業改善シートに関する検討会の結果について ・FD研修会講師依頼の結果について 	

2014年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：高島 郁夫 委員：新谷 恵子、荒川 義人、堀井 泰明、今崎 裕子 計5名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画について ・前期研究報告会について(発表者：新任教員ないしは紀要執筆者) ・後期研究報告会について(発表者：特別研究費取得者) ・神戸大学安全安心科学センター長 大澤 朗 氏講演会の開催について ・紀要査読終了後の修正原稿提出時における注意点について ・紀要作製業者の変更について ・過年度博士論文のリポジトリ収録について ・今年度の課題(若手研究者の育成など)について ・2015年度活動計画案・予算案について ・天使大学紀要第15巻第1号投稿原稿の紀要掲載可否判定について ・機関リポジトリ収録許諾について：東日本大震災復興支援プロジェクト図書およびリーフレット2点 ・天使大学紀要第15巻第2号の原稿再募集について ・次年度講演会等の講師候補選考について ・紀要の抜き刷り印刷代について ・2014年度年報：IV. 研究活動・研究環境 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天使大学紀要第14巻第2号の発刊について ・天使大学紀要第15巻第1号の原稿募集結果・査読について ・天使大学紀要第15巻第2号への投稿申込みについて ・大澤 朗 氏講演会について(報告) ・科研費獲得のための講習会(Live On による久留米からのライブ中継)について(実施報告) ・科研費公募要領等説明会報告 ・学内科研費公募要領等説明会について ・天使大学紀要第15巻第1号の発刊について 	

2014年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山口敦子 委員：若山好美・長谷川めぐみ・田島忠篤・津田万寿美</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について ・2014年度委員長不在時の委員長代理について ・2014年度地域連携事業活動の把握と報告書について ・2014年度北海道薬科大学との連携事業（連携公開講座・夕張地域医療体験）について ・2014年度東区4者連携事業、5者連携事業(2014年7月末以降)について ・平成27年度ほっかいどう学インターネット講座の参加について ・2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座の実施案・ポスターについて ・2015年度活動計画書案・予算案について ・2014年度自己点検評価について ・その他 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度活動計画および予算について ・2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座進捗状況について ・2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座実施・報告について ・2014年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座意見交換会実施報告について ・2014年度東区4者連携事業、5者連携事業(2014年7月末以降)について ・2014年度夕張地域医療体験について ・2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座の実施案について ・平成27年度道民カレッジ連携講座前期分申込、名義後援願について ・2014年度地域連携事業活動報告書の提出について ・2015年度予算ヒアリングについて ・その他 	

2014年度 就職委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：清水真理 委員：佐藤昇子、百瀬いづみ、新井英志、堀切俊介、嶋崎昭男</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度活動計画の確認について ・2014年度役割分担について ・2014年度就職ガイダンスについて ・出張関連について ・公務員模試試験について ・就職相談室ニュースについて ・模擬面接演習の日程について ・求人開拓パンフレットの作成について ・2015年度予算について ・就職対策講座、模擬試験について ・就職活動と就職支援に関する調査（アンケート）について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職相談室報告及び2013年度卒業予定者内定状況 ・事務処理の確認 ・出張関連について ・就職ガイダンス報告 ・特別会社説明会について ・ガイダンス欠席者の対応について ・北海道教員採用選考検査について ・就職活動と就職支援に関する調査（アンケート）について ・模擬面接セミナー実施報告 ・2014年度就職相談室資料整理アルバイト募集報告 	

2014年度 教職課程委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：伊藤 進 委員：山部 秀子、新井 英志、百々瀬 いつみ、岩渕 絵里子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>6 回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程履修3年次生への個別面談について 2. 2014年度教職課程修了判定について 3. 2015年度教育実習履修判定について 4. 2015年度科目担当者及び非常勤講師について 5. 2015年度特別講師について 6. 2015年度新入生オリエンテーションについて 7. 2015年度予算及び活動計画書について 8. 2015年度教職課程履修の手引について 9. 2015年度履修要項・授業概要の作成について 10. 履修カルテ等の取扱いについて 11. 教員免許状更新講習の評価及び次年度の対応について <p>[主な報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程履修取消者について 2. 2014年度特別講師の委嘱に関する確認 3. 履修カルテの配付対象科目の確認 4. インターンシップ実施計画の報告 5. 北大農場関係事業のお知らせ 6. 教員免許申請手続について 7. 2015年度栄養教育実習日程について 8. 2015年度インターンシップについて 9. 2015年度教育実習校の割り当てについて 10. 2015年度教員採用試験について 11. 教職課程春期ゼミナールについて（新4年生対象） 	

2014年度 研究倫理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井泰明 委員：園生陽子、大久保岩男、新谷恵子、佐藤香苗、吉田礼維子、賀来 亨</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選出について ・書類提出締切日、審査の段取り、委員会開催日について ・研究計画の倫理審査（審査件数 29 件） ・栄養学科卒業研究の取扱い変更について ・天使大学における倫理審査のためのチェックリスト新規作成について ・国の新倫理指針に合わせた本委員会規程の次年度改正作業等について ・2015 年度の活動計画について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における研究計画の倫理審査手続きに関する説明会開催について ・次年度の申請からチェックリストを添付する件について 	

2014年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：谷井康子 委員：久保ちづる、伊藤 進、本宿美砂子、佐保末男、平野敦子</p> <p style="text-align: right;">計6名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p style="text-align: center;">審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度活動方針・活動内容について ・講演会の開催について ・学生と教職員間の事案の場合のフローチャートについて ・教職員を対象とした研修会の開催について ・キャンパス・ハラスメント申込書(申立書)の提出について ・実態調査アンケートの公表方法について ・実態調査アンケートの集計方法について ・2015年度活動計画と予算について ・2014年度活動報告について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度予算について ・1年次生を対象としたガイダンスの実施について ・実態調査アンケートについて ・「パワーハラスメント対策取組支援セミナー」について ・講演会の参加状況について ・学生と教職員間のハラスメントの申立てについて ・2015年度 アッセンブリー・アワー利用希望調査について 	

2014年度 東日本大震災復興支援プロジェクト活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：目時光紀 委員：小澤涼子、田中さおり、百々瀬いづみ、高桑暁子、高山美香、西村和奈、 松田ゆかり</p> <p style="text-align: right;">計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度活動の担当者について ・ボランティア助成金の対象団体について ・2014年度前期活動計画について ・ボランティア募集情報の掲示について ・天使祭の出店について ・前期ボランティア報告会及び説明会について ・後期ボランティア報告会及び講演会について ・震災ボランティアに参加する際の障壁について ・2015年度活動計画・事業計画及び予算について ・2014年度活動報告書の執筆分担について ・天使大学リポジトリへの活動報告書の収載について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度助成金申請者一覧について ・天使祭について ・同窓会学生ボランティア報告について ・ボランティア募集情報の掲示について ・後期ボランティア報告会及び講演会について ・2014年度補正予算について ・活動報告書およびレシピブックのリポジトリ収載とHPへの掲載について ・写真展の開催について ・2014年度活動報告書について 	

Ⅳ. 図書館の利用状況

2014年度入館者統計(人数)

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	1,615	1,404	1,861	1,667	812	1,080	1,803	1,576	1,071	1,024	431	81	14,425
栄養学科	780	656	881	1,007	224	356	684	508	372	621	304	237	6,630
助産研究科	247	197	126	63	67	67	145	76	16	13	63	27	1,107
看護学専攻	41	47	38	27	18	11	25	27	29	30	21	15	329
栄養管理学 専攻	5	9	7	21	8	9	8	16	6	12	8	4	113
科目等履修生	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
教職員	204	248	200	197	144	422	235	176	176	163	146	112	2,423
学外者	45	54	39	42	34	54	35	41	16	23	40	20	443
合計	2,937	2,615	3,152	3,024	1,307	2,001	2,935	2,420	1,686	1,886	1,013	496	25,472

2014年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	1,148	1,092	1,358	1,076	777	1,097	1,512	1,079	843	413	206	99	10,700
栄養学科	484	643	784	529	225	299	577	502	302	161	159	49	4,714
助産研究科	198	319	178	107	105	146	205	136	31	26	108	79	1,638
看護学専攻	61	47	43	31	14	20	28	49	38	39	41	15	426
栄養管理学 専攻	22	31	29	42	19	30	15	25	15	11	8	12	259
科目等履修生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	247	282	211	141	139	251	283	167	174	129	159	107	2,290
学外者	10	13	7	10	0	4	14	25	6	5	79	0	173
合計	2,170	2,427	2,610	1,936	1,279	1,847	2,634	1,983	1,409	784	760	361	20,200

XV. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	915	2,190	1,766	1,596	6,467	1,079	2,743	7,424	3,193	14,439	20,906
4301室(夜間)	100	125	151	341	717	75	111	348	274	808	1,525
4302室(日中)	4,624	3,566	1,300	1,415	10,905	5,590	3,648	3,950	2,202	15,390	26,295
4302室(夜間)	203	231	188	352	974	289	277	513	222	1,301	2,275
総計	5,842	6,112	3,405	3,704	19,063	7,033	6,779	12,235	5,891	31,938	51,001

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	568	834	286	585	2,273	620	529	729	587	2,465	4,738
5	992	1,081	307	545	2,925	1,176	700	1,975	559	4,410	7,335
6	847	869	540	427	2,683	1,205	772	1,437	777	4,191	6,874
7	822	614	439	296	2,171	1,216	875	1,410	745	4,246	6,417
8	58	158	77	196	489	67	51	245	289	652	1,141
9	358	160	345	294	1,157	309	226	1,539	547	2,621	3,778
10	595	474	368	284	1,721	805	626	1,597	760	3,788	5,509
11	552	848	254	387	2,041	611	1,007	832	749	3,199	5,240
12	549	610	259	617	2,035	460	904	1,534	614	3,512	5,547
1	476	425	398	33	1,332	496	954	611	147	2,208	3,540
2	21	32	88	20	161	59	130	184	54	427	588
3	4	7	44	20	75	9	5	142	63	219	294
総計	5,842	6,112	3,405	3,704	19,063	7,033	6,779	12,235	5,891	31,938	51,001

XII. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比 (単位：m²)

	本学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差 (基準外を除く)
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(m ²)	備考
1号館	1976 (S51)	35	937.76	2階建
2号館	1995 (H 7)	16	707.43	2階建 (耐震構造)
3号館	1963 (S38)	48	1,977.01	3階建 (耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	40	2,429.06	3階建 (耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	31	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	11	2,674.91	6階建 (耐震構造)
7号館	2002 (H14)	9	2,330.13	4階建 (耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	7	1,855.69	4階建 (耐震構造)
体育館	1976 (S51)	35	736.52	
中沼グランド更衣室	1992 (H 4)	19	79.38	平屋建
計	—	—	14,124.16	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(m ²)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当り面積(m ²)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,519	共用	1,223	754	2.01	看護栄養学研究科と共用
	演習室	12	345	共用	221	805	0.52	大学院と共用
	学生学習室	2	288	共用	160	754	0.38	
看護栄養学研究科	講義室	/	/	/	/	/	/	
	学生学習室	2	272	共用	92	11	24.72	助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	51	51	4.45	
	学生学習室	1	246	共用	82	62	3.96	看護栄養学研究科と共用
体育館		1	737	/	/	/	/	
講堂		1	737	/	/	/	/	

学部の学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	257	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,477	3.32

大学院の学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積 (m ²)	収容人数 (総数)	収容人員1人 当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	19	2,477	747	3.32	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	20	2,651	787	3.37	—	—

XII. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	2013年度	他法人
1	自己資金は充実されているか	自己資金構成比率	△	$\frac{\text{自己資産}}{\text{総資産}}$	83.1	84.5
2		消費収支差額構成比率	△	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}}$	4.2	△1.3
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.6	96.1
4	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	85.8	80.2
5		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}}$	81.2	74.8
6	資産構成はどうなっているか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	71.7	75.1
7		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	28.3	24.9
8		減価償却比率 (図書を除く)	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	52.0	43.4
9	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率 [※]	△	$\frac{\text{内部留保資産}}{\text{総資産}}$	43.0	18.1
10		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	242.2	238.2
11		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	257.4	286.7
12		退職給与引当預金率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	83.1	65.7
13	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資産}}$	4.8	6.7
14		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資産}}$	11.7	10.4
15		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.4	17.2
16		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	19.7	18.3

※内部留保資産 = その他の固定資産 + 流動資産 - 総負債

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」2014年度版による。

消費収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	2013年度	他法人
1	経営状況はどうか	帰属収支差額比率	△	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	10.5	4.8
2	収入構成はどうなっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	77.5	78.9
3		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.8	1.8
4		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	15.2	11.8
5		人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	60.5	56.1
6	支出構成は適切であるか	教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	24.1	26.5
7		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	4.7	11.1
8		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.0	0.4
9		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	9.6	10.9
10		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	7.7	11.0
11		収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	78.0
12	消費収支比率		▼	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	99.0	107.0

編集後記：

天使大学看護栄養学部年報 - 自己点検・評価報告書 - 2014 年度版が発行となりました。年度末評価の一環として教職員間で現状の活動や課題を可視化するシステムづくりの一つとして学科、委員会等の活動評価報告および意見交換の場も定着しつつあります。年報は、その内容をまとめたものとして、また大学全体における次への課題を明らかにするものとして利用していただくものになればと考えております。今後も大学の課題を全教職員が認識し、課題の改善に向けた活動へと発展する自己点検評価活動を目指したいと思えます。大学の自己点検評価活動についての忌憚のないご意見等を今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2015 年 6 月

自己点検評価委員会委員長 荃津 智子

2015 年度 自己点検評価委員会

委員長：荃津 智子（看護学科）

委員：大久保岩男（看護栄養学研究科長）

園生 陽子（助産研究科長）

前田 明子（看護学科長）

山部 秀子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

佐保 末男（事務局長）

金澤 康子（栄養学科）

総務課：上村 俊哉

2014年度

天使大学 看護栄養学部

年 報

—自己点検・評価報告書—

2015年6月発行

自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<http://www.tenshi.ac.jp>
